

飯塚市障がい者施策推進協議会委員 各位

第3期飯塚市障がい者計画が令和5年度末に満期を迎えることから、飯塚市では、第4期飯塚市障がい者計画を令和4年度と令和5年度の2年間かけて策定する予定です。

令和4年度は、障がい当事者や市民の方を対象に、アンケートを実施し、分析を行う予定としています。飯塚市障がい者施策推進委員の皆様には、本計画の策定に参画していただきたく、本アンケートに目を通していただき、ご意見を伺いたいと考えています。なお、いただいたご意見はアンケートに反映いたしますので、よろしくお願いいたします。

- 調査票 A (身体障がい者手帳所有者向け)
- 調査票 B (療育手帳所有者向け)
- 調査票 C (精神保健福祉手帳所有者向け)
- 調査票 D (障がい児の保護者向け)
- 調査票 E (一般向け)

第4期飯塚市障がい者計画策定スケジュール（案） ～令和5年度～

主な項目		令和5年度																																			
		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
業者選定	実施要領等準備																																				
	業者募集																																				
	1次・2次審査																																				
	業者決定																																				
アンケート調査	アンケート作成																																				
	調査票準備																																				
	調査実施																																				
	集計・分析																																				
各種団体等の ヒアリング調査	ヒアリング先検討																																				
	調査票準備																																				
	調査実施																																				
	集計・分析																																				
資料収集	各種統計データ収集																																				
計画原案の作成	原案作成・修正																																				
計画概要版の作成	計画概要版作成																																				
市民提案 (パブリックコメント)	実施準備																																				
	意見募集																																				
	結果集約・回答作成等																																				
関係会議	部長会・庁議																																				
障がい者施 策推進協議会					①				②					③					④							⑤				⑥	答 申						
					・基本理念 ・目標 ・体系等				・各論構成 ・分野内容等					・各論構成 ・分野内容等					・市民意見募集 ・原案完成						・市民意見結果 ・原案修正				・原案修正								
第3期障がい者計画 進捗管理	各課進捗状況照会 報告																																				

飯塚市障がい福祉に関するアンケート調査票(概要一覧)

調査票	対象者	抽出方法	調査予定数	調査内容項目
A	市内にお住まいの身体障がい者手帳をお持ちの18歳以上の方	無作為	1,300	<ul style="list-style-type: none"> ・ご自身のことについて ・生活状況 ・日中の過ごし方及び就労状況 ・外出 ・福祉サービス ・情報収集 ・災害対策 ・社会参加や地域での生活 ・生活全般 ・福祉全般
B	市内にお住まいの療育手帳をお持ちの18歳以上の方	無作為	400	<ul style="list-style-type: none"> ・ご自身のことについて ・生活状況 ・日中の過ごし方及び就労状況 ・外出 ・福祉サービス ・情報収集 ・災害対策 ・社会参加や地域での生活 ・生活全般 ・福祉全般
C	市内にお住まいの自立支援医療(精神通院医療)受給者の方	無作為	400	<ul style="list-style-type: none"> ・ご自身のことについて ・生活状況 ・日中の過ごし方及び就労状況 ・外出 ・福祉サービス ・情報収集 ・災害対策 ・社会参加や地域での生活 ・生活全般 ・福祉全般
D	市内にお住まいの18歳未満の障がいがあるお子さん(身体障がい者手帳または療育手帳をお持ちのお子さんの等)の保護者の方	無作為	250	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんやご家族のことについて ・生活状況について ・療育等について ・保育や教育について ・外出 ・福祉サービス ・情報収集 ・災害対策 ・地域生活や社会参加 ・生活全般 ・福祉全般
E	市民の方	無作為	2,000	<ul style="list-style-type: none"> ・共生社会の考え方 ・言葉の認識 ・地域での手助け ・飯塚市の障がい者施策の認識 ・福祉やボランティア活動への関心 ・5年前と比べての改善状況
			調査予定総数	4,350

いいづかししょう ふくし かん ちょうさ
飯塚市 障がい福祉に関するアンケート調査ちょうさひょう
(調査票 A)

見本

きょうりょく ねが
【ご協力のお願い】

ひごろ いいづかし しょう ふくしきょうせい りかい きょうりょく
日頃から飯塚市の障がい福祉行政にご理解、ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

いいづかし しょう かた ちいき じりつ あんしん せいかつ かんきょう
飯塚市では、障がいのある方が、地域で自立し、かつ、安心して生活できる環境づくりを進めるため、令和5年度中に「飯塚市障がい者計画」を策定する予定です。

ちょうさ けいかくさくてい きそしりょう しなない す しんたいしょう しやてちやうも
この調査は、計画策定の基礎資料とするため、市内にお住まいの身体障がい者手帳をお持ちの18歳以上の方から無作為に抽出した約1,300人の方を対象に、日常生活の状況やご要望等をおうかがいするために行うものです。

なお、この調査票にお名前を書く必要はなく、調査結果は「対象者の〇〇%がこのような要望を持っている」というふうに、すべて統計的な処理にのみ使用します。したがって、あなたのお名前や回答の内容が他の人に知られることはありませんので、安心してお答えください。

いそが いてすう りかい きょうりょく ねが
お忙しいところお手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

れいわ ねん がつ
令和4年●月いいづかしちょう
飯塚市長きにゅう ちゅうい
記入にあたってのご注意

- この調査票は、できる限りあて名のご本人がお答えください。
- ご本人の回答や記入が難しい場合は、主に介助されている方や、ご家族の方が、ご本人と相談したり、ご本人の立場にたってお答えください。
- ひとり暮らしなどのため、調査票への記入が難しい場合は、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。
- 鉛筆またはボールペンでご記入ください。
- 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きの指示に従ってお答えください。
- 調査票の記入が終わったら、**●月●日(●)まで**に、同封の返信用封筒に入れて、ポストに入れてください(住所やお名前を書く必要はありません)。

ちょうさ かん と あ さき
【調査に関するお問い合わせ先】いいづかし ふくしぶ しゃかい しょう しゃふくしか
飯塚市 福祉部 社会・障がい者福祉課でん わ ないせん
電話：0948-22-5500 (内線1152)

F A X : 0948-21-6356

あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別、年齢についておたずねします。

(1) 性別	1. 男性	2. 女性	3. その他
(2) 年齢	満 () 歳		

問2 あなたの「身体障がい者手帳」の記載内容についておたずねします。ご自分の手帳を見てお答えください。

(1) 身体障がい者手帳に記載された総合等級は何級でしょうか。(○は1つだけ)

等級の数字に○印	→	1	2	3	4	5	6
		級	級	級	級	級	級

(2) あなたの身体障がい者手帳に記載されたもののうち、主な障がいはどれですか。(○は1つだけ)

1. 視覚	2. 聴覚	3. 平衡機能
4. 音声・言語・そしゃく機能	5. 上肢	6. 下肢
7. 体幹	8. 心臓	9. 呼吸器
10. じん臓	11. ぼうこう	12. 直腸
13. 小腸	14. 肝臓	15. 免疫

問3 問2(2)で回答した障がいのほかに、「重複する障がい」がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 視覚	2. 聴覚	3. 平衡機能
4. 音声・言語・そしゃく機能	5. 上肢	6. 下肢
7. 体幹	8. 心臓	9. 呼吸器
10. じん臓	11. ぼうこう	12. 直腸
13. 小腸	14. 肝臓	15. 免疫
16. 重複する障がいはない		

問4 最初に障がいが発生した時期をお答えください。(疾患の場合は発病時を意味します。)(○は1つだけ)

1. 出生時から	2. 乳幼児期(0～5歳)	3. 6～17歳
4. 18～39歳	5. 40～64歳	6. 65歳以上
7. わからない		

問5 あなたは、身体障がい者手帳以外の障がい者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

1. 療育手帳を持っている
2. 精神障がい者保健福祉手帳を持っている
3. 療育手帳と精神障がい者保健福祉手帳を持っている
4. 持っていない

問6 あなたは、障がい福祉サービスを利用するための区分認定を受けていますか。認定を受けている場合、区分についても○をつけてください。

1. 認定を受けている
 ↳ ①区分1 ②区分2 ③区分3 ④区分4 ⑤区分5 ⑥区分6
2. 申請したが非該当
3. 現在申請中
4. 申請をしていない

問7 あなたの生活費は、主に、次のどれによってまかなわれていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 自分の年金や手当 | 2. 自分の就労等による収入 |
| 3. 家族の年金や手当 | 4. 家族の就労等による収入 |
| 5. 生活保護 | 6. その他 () |

問8 あなたは現在、医療機関や施設などで定期的に医師の診察(機能訓練、デイケアなどを含む)を受けていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週1～2回 | 3. 月2～3回 |
| 4. 年数回 | 5. 入院中 | 6. 受けていない |

【問9は40歳以上の方のみお答えください】

問9 介護保険の要介護認定を受けていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 「要支援1」と認定 | 2. 「要支援2」と認定 |
| 3. 「要介護1」と認定 | 4. 「要介護2」と認定 |
| 5. 「要介護3」と認定 | 6. 「要介護4」と認定 |
| 7. 「要介護5」と認定 | 8. 審査で「非該当」となった |
| 9. 要介護認定を受けていない | |

問9-1 (問9で1～7を選んだ方のみお答えください) あなたは介護保険のサービスを利用していますか。(○は1つだけ)

1. 利用している
2. 利用していない
3. わからない

とい 問 10 あなたの現在の住まいは次のどれですか。(○は1つだけ)

1. 自分や家族の持ち家
2. 民間の借家や賃貸アパート・マンション
3. 市営・県営住宅、公社・公団住宅等
4. 社宅や会社の寮、官公社等の住宅
5. 共同生活をするためのグループホーム・ケアホーム
6. グループホーム・ケアホーム以外の福祉施設(入所中)
7. その他()

とい 問 10-1 (問10で1~4を選んだ方のみお答えください) あなたは、現在、どなたと同居していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 父親 |
| 3. 母親 | 4. 祖父 |
| 5. 祖母 | 6. 兄弟姉妹 |
| 7. 子ども(子どもの配偶者含む) | 8. 孫(孫の配偶者含む) |
| 9. その他の家族・親族 | 10. 家族以外の人 |
| 11. その他() | 12. いない(一人暮らし) |

とい 問 10-2 (問10で6を選んだ方のみお答えください) 現在入所している施設での生活に満足していますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|---------------|---------------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 | 3. どちらかといえば不満 |
| 4. 不満 | 5. わからない | |

とい 問 10-3 (問10で6を選んだ方のみお答えください) あなたは、将来、どのように暮らしたいですか。(○は1つだけ)

1. 施設ですっと暮らしたい
2. 自宅に戻って暮らしたい
3. 施設を出て、アパートなどを借りて暮らしたい
4. 施設を出て、グループホームなどで暮らしたい
5. その他()
6. わからない

次ページ問10-4へお進みください

問10-4 (問10-3で1を選んだ方のみお答えください) その理由はなぜですか。(○は1つだけ)

1. 施設を出て生活することに、不安や問題があるから
2. 施設での生活に満足しているから
3. その他 ()

問10-5 (問10-4で1を選んだ方のみお答えください) どのような問題ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 住むところの問題
2. 介護・支援をしてくれる人の問題
3. 経済的な問題
4. 日常生活を送る上での問題
5. 対人関係の問題
6. なんとなく不安がある
7. その他 ()

問10-6 (問10で6を選んだ方のみお答えください) あなたは、どのような条件が整えば、自宅や地域で生活できると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族と同居できること
2. 昼間の介護・支援を頼める人がいること
3. 夜間の介護・支援を頼める人がいること
4. 食事の心配をしなくていいこと (配食サービスがある等)
5. 掃除や洗濯等の家事の手伝いを頼める人がいること
6. デイサービスや作業所等に通えること
7. ショートステイ等緊急時に宿泊できる場所があること
8. ガイドヘルパーやリフト付自動車・寝台車等の外出支援のサービスがあること
9. 地域で独立して生活するためのアパートなどの住まい
10. 主治医や医療機関が近くにあること
11. 生活するのに十分な就労等による収入があること
12. 年金・手当・生活保護など経済的な面での公的な支援
13. 金銭の管理をしてくれるサービス
14. アパートを借りる際に、契約などの手続きを支援してくれるサービス
15. グループホーム等の仲間と共同生活できる場があること
16. 地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること
17. その他 ()
18. 特にない

生活状況についておたずねします

問 1 1 あなたの身の回りの世話は、主にどなたがしていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 父母 |
| 3. 祖父母 | 4. 兄弟姉妹 |
| 5. 子ども・孫 (子ども・孫の配偶者含む) | 6. その他の家族・親族 |
| 7. 家族以外の同居人 | 8. ホームヘルパー・家事代行等 |
| 9. ボランティア等 | 10. 福祉施設や医療機関の職員 |
| 11. その他 () | 12. 必要だが世話をしてくれる人がいない |
| 13. 世話をしてもらう必要がない | |

問 1 1-1 (問 1 1 で 1 ~ 7 のいずれかを選んだ方のみお答えください) 身の周りの世話をしている方が、万一病気や事故等で、一時的にお世話をすることができなくなったとした場合、どうしますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 同居家族に頼む | 2. 別居家族や親せきに頼む |
| 3. 友人・知人に頼む | 4. 近所の人に頼む |
| 5. ホームヘルパー等に頼む | 6. ボランティアに頼む |
| 7. 介助者を雇う | 8. 施設 (短期入所) や病院に頼む |
| 9. その他 () | 10. 介助を頼めるところがない |
| 11. 介助を頼む必要がない | 12. 考えたことがない・わからない |

日中の過ごし方や就労状況についておたずねします

問12 あなたは、日中（平日）、主に何をして過ごしていますか。（○は1つだけ）

1. 正規の社員・従業員として働いている（自営業を含む）
2. パートやアルバイトとして働いている（家業手伝いを含む）
3. 就労支援事業所に通っている
4. 学校（4年制大学、短大、専門学校等）に通っている
5. 施設で機能訓練などを受けるサービスや医療機関のデイケア等に通っている（介護保険のサービスを除く）
6. 仲間同士の集まり等に参加している
7. 自宅で過ごしている
8. 医療機関や福祉施設等に入院・入所している
9. 介護保険のデイサービス等を利用している
10. その他（ ）

問12-1 （問12で1～3のいずれかを選んだ方のみお答えください）あなたが仕事で得る月収は平均しておよそいくらくらいですか。（○は1つだけ）

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 5千円未満 | 2. 5千円～1万円未満 | 3. 1万円～3万円未満 |
| 4. 3万円～7万円未満 | 5. 7万円～11万円未満 | 6. 11万円～15万円未満 |
| 7. 15万円～20万円未満 | 8. 20万円～30万円未満 | 9. 30万円以上 |

問12-2 （問12で1～3のいずれかを選んだ方のみお答えください）仕事のことなどで悩んでいることや困っていることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 収入が少ない
2. 病院や病氣・障がいや理由に休みを取ることが難しい
3. 勤務時間の長さや時間帯が自分にあわない
4. 仕事の内容が自分にあわない
5. 仕事の内容が難しく、覚えるのがたいへん
6. 職場でのコミュニケーションがうまくとれない
7. 障がいへの理解が得にくく、人間関係がむずかしい
8. 職場の設備が不十分で障がい者にあっていないため使いにくい
9. 職場までの通勤がたいへん
10. 障がいがない人と比べて、仕事の内容や昇進等に差がある
11. その他（ ）
12. 特にない

【問13は仕事をしている方もしていない方もお答えください】

問13 障がい者が働くために、必要な条件は何だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 勤務する時間や日数を調整できること
2. 通勤手段があること
3. 通院等の保障があること
4. 自宅で仕事ができること
5. 賃金が妥当であること
6. 障がいにあった仕事であること
7. 職業訓練等で就労のための技術を身につけること
8. ※ジョブコーチ(職場適応援助者)等職場に慣れるまで援助してくれる制度があること
9. 勤務場所に障がい者用の設備・機器が整っていること
10. 周囲が自分を理解してくれること
11. 職場により指導者や先輩がいること
12. 就労支援事業所等の福祉的就労の場を確保すること
13. その他 ()
14. 特にない

※ジョブコーチ(職場適応援助者)とは、障がいのある方の働いている職場へ付き添い、職場の中で人間関係や労働習慣の習得、コミュニケーションの仲立ち等をお手伝いし、一人で仕事ができるまで手助けする指導員のことです。事業所の方に対する受け入れ体制整備等の助言も行います。

外出についておたずねします

問14 あなたが外出する回数はどれくらいですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に2～3回くらい | 3. 月に2～3回くらい |
| 4. 月に1回くらい | 5. 年に数回くらい | 6. 外出していない |

問15 外出の時の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|------------|----------|
| 1. JR・電車 | 2. バス | 3. タクシー |
| 4. 自家用車 | 5. 自転車・バイク | 6. 電動カート |
| 7. 徒歩(車いすを含む) | 8. その他() | |

問16 外出に関して、あなたはどのようなことに不便や困難を感じる人が多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 付き添ってくれる人がいない |
| 2. 多目的トイレが少ない |
| 3. 道路・建物の段差や、電車・バス等の乗り降りがたいへん |
| 4. 気軽に利用できる移送手段が少ない(福祉タクシーやリフト付きバス等) |
| 5. 障がい者用の駐車スペースや手すり、スロープ、案内表示等、障がい者に配慮した設備が不十分である |
| 6. 通路上に自転車や看板等の障がい物があるとおりにくい |
| 7. 外出先でコミュニケーションがとりにくい |
| 8. 必要なときに、まわりの人の手助けや配慮が足りない |
| 9. まわりの人の目が気になる |
| 10. 交通費の負担が大きい |
| 11. 外出したいが、外出するところがない |
| 12. その他() |
| 13. 特にない・ほとんど外出しないのでわからない |

福祉サービスについておたずねします

問17 現在あなたがご利用中の障がい福祉サービスはどのようなものですか。介護保険制度の利用分は除き、障がい福祉サービスの利用についてのみ、お答えください。

(あてはまるものすべてに○)

※サービスの内容を別紙で解説していますので、あわせてご覧ください。

1. 居宅介護 (ホームヘルプ)
2. 行動支援
3. 同行支援・移動支援
4. 生活介護 (通所によるデイサービス)
5. 自立訓練 (機能訓練、生活訓練)
6. 就労移行支援
7. 就労継続支援A型
8. 就労継続支援B型
9. 短期入所 (ショートステイ)
10. 日中一時支援
11. 共同生活援助 (グループホーム)
12. 共同生活介護 (ケアホーム)
13. 施設入所支援
14. 補装具 (車いす、補聴器など) の交付・修理
15. 日常生活用具の給付
16. 訪問入浴サービス
17. 訪問理髪サービス
18. 寝具乾燥及び洗濯サービス
19. 配食サービス
20. 福祉電話、緊急通報システムの貸し出し
21. 住宅改造助成事業
22. 意思疎通支援者派遣事業
23. 地域活動支援センター
24. 福祉タクシー利用券
25. 成年後見制度利用支援事業

問18 では、今後あなたが利用してみたい障がい福祉サービスはどのようなものですか。
 介護保険制度の利用分は除き、障がい福祉サービスの利用についてのみ、お答え
 ください。（あてはまるものすべてに○）

1. 居宅介護（ホームヘルプ）
2. 行動援護
3. 同行援護・移動支援
4. 生活介護（通所によるデイサービス）
5. 自立訓練（機能訓練、生活訓練）
6. 就労移行支援
7. 就労継続支援A型
8. 就労継続支援B型
9. 短期入所（ショートステイ）
10. 日中一時支援
11. 共同生活援助（グループホーム）
12. 共同生活介護（ケアホーム）
13. 施設入所支援
14. 補装具（車いす、補聴器など）の交付・修理
15. 日常生活用具の給付
16. 訪問入浴サービス
17. 訪問理髪サービス
18. 寝具乾燥及び洗濯サービス
19. 配食サービス
20. 福祉電話、緊急通報システムの貸し出し
21. 住宅改造助成事業
22. 意思疎通支援者派遣事業
23. 地域活動支援センター
24. 福祉タクシー利用券
25. 成年後見制度利用支援事業

情報収集についておたずねします

問19 福祉サービスや福祉制度をはじめとする生活に必要な情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 市や県等の窓口 | 2. 市や県の広報紙やチラシ、ホームページ等 |
| 3. 障がい者生活支援センター | 4. 障がい者相談員や民生委員・児童委員 |
| 5. 障がい者団体 | 6. 家族や友人・知人 |
| 7. 入所・通所している福祉施設の職員 | 8. ボランティア等の福祉団体 |
| 9. ホームヘルパーや訪問看護師等 | 10. 病院・診療所・薬局等 |
| 11. 学校・職場 | 12. 新聞・雑誌 |
| 13. テレビ・ラジオ | 14. インターネット |
| 15. その他 () | 16. 特にない |

問20 福祉サービスや福祉制度をはじめとする生活に必要な情報を十分に入手できていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 十分 | 2. どちらかといえば十分 |
| 3. どちらかといえば不十分 | 4. 不十分 |
| 5. わからない | |

問20-1 (問20で3または4を選んだ方のみお答えください) あなたがそう思われるのはどのような理由からですか。ご自由にお書きください。

問21 あなたにとって、今後、特に充実してほしい情報は何か。(○は3つまで)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 社会情勢や福祉制度の変化等に関する情報 |
| 2. 福祉サービスの内容や利用方法等に関する情報 |
| 3. 困ったときに相談ができる機関や窓口に関する情報 |
| 4. 学校の選び方等の就学に関する情報 |
| 5. 仕事の選び方等の就職に関する情報 |
| 6. 文化・スポーツやレクリエーション、レジャー等の余暇活動に関する情報 |
| 7. 災害時の避難情報 |
| 8. ボランティア団体等に関する情報 |
| 9. その他 () |
| 10. 特にない |

災害対策についておたずねします

問22 あなたは、自宅近くの災害時の避難先を知っていますか。(〇は1つだけ)

1. 知っている 2. 知らない

問23 あなたは、仕事場や通所先、学校の近くにある災害時の避難先を知っていますか。(〇は1つだけ)

1. 知っている 2. 知らない

問24 あなたは、災害時の対策を立てていますか。(〇は1つだけ)

1. 立てている 2. 立てていない

問24-1 (問24で1を選んだ方のみお答えください) それはどのような内容のものですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 家族と避難方法を決めている
 2. 地域の人等と避難方法を決めている
 3. ボランティアの人に災害時の手助けを頼んでいる
 4. 近所の人に災害時の手助けを頼んでいる
 5. 食料や水等の防災用品を用意している
 6. 必要な補装具、医療器具等はすぐに持ち出せる
 7. その他 ()

問25 あなたは、災害時にひとりで避難ができますか。(〇は1つだけ)

1. できる 2. できない 3. わからない

問26 地震や台風等の大きな災害が起きた場合に、安全の確保等で頼れる人は誰ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 同居の家族 2. 近所の別居家族や親戚
 3. 近所の友人・知人 4. 自治会長、隣組長など
 5. 地元の消防団員 6. 民生委員、福祉委員
 7. 施設の職員や仲間 8. その他 ()
 9. いない

問27 地震や台風等の大きな災害が起きた場合、あなたはどのような支援が必要ですか。

(○は3つまで)

1. 薬や日常生活用具等の備蓄
2. 医療的ケアの確保
3. バリアフリー化された避難場所
4. 避難場所における多目的トイレや簡易ベッドなどの障がいに対応した設備の確保
5. 障がいに対応した災害情報の提供
6. 避難するときの介助・支援
7. コミュニケーション手段の確保
8. 障がいに対応した相談支援体制の確保
9. その他 ()
10. 特にない

問28 災害時にひとりで避難ができない方々の情報を、地域の防災組織にあらかじめ知らせおき、避難支援体制を整えておくことについて、あなたはどうか考えになりますか。(○は1つだけ)

1. 協力する
2. 方法によっては協力する
3. 協力しない

問28-1 (問28で3を選んだ方のみお答えください) それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

1. プライバシーが守れない
2. 他人の手を借りたくない
3. ほかの手段で避難できる
4. その他 ()
5. わからない

しゃかいさんか ちいき せいかつ
社会参加や地域での生活についておたずねします

問29 あなたは、ふだん地域の方とどのようなおつきあいをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 会えばあいさつしあう程度
2. 世間話をする
3. 一緒に遊んだり、出かけたりする
4. 自治会等の地域活動と一緒に参加する
5. 盆踊りや祭り等の行事と一緒に楽しむ
6. サークル等で趣味やスポーツの活動と一緒に楽しむ
7. 学校や職場の行事と一緒に参加する
8. 入所・通所している施設の行事等で交流する
9. その他 ()
10. つきあいはしていない

問30 あなたが地域で行われる行事や余暇活動(文化・スポーツ・レクリエーション活動等)に参加しようとした場合、そのさまたげとなることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. どのような活動が行われているか知らない
2. 気軽に参加できる活動が少ない
3. 一緒に活動する友人・仲間がいない
4. 家事・仕事等との都合が難しい
5. 活動場所が近くにない・移動手段がない
6. 健康や体力に自信がない
7. コミュニケーションが難しい
8. 費用がかかる
9. 参加したくなるようなものがない
10. 参加したいが誘ってもらえない
11. 過去に参加したが期待はずれだった
12. その他 ()
13. 特にない
14. 参加しようとは思わない

問3 1 今後、余暇活動として、どのような活動をしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. スポーツ | 2. レクリエーション |
| 3. 旅行 | 4. 買い物 |
| 5. ボランティア活動 | 6. ※セルフヘルプ活動 |
| 7. 趣味等のサークル活動・生涯学習 | 8. 講座・講演会等への参加 |
| 9. 地域の行事や祭り、学校・職場の行事 | 10. その他 () |
| 11. 特にない | |

※セルフヘルプ活動とは、同じような立場(病気・障がい等)の方たちが、その思いや体験を共有しながら、専門家の支援・援助を受けることなく、自らも自立しながら相互に支え合うことです。

生活全般についておたずねします

問3 2 今後、あなたが充実した生活を送ることを考えるうえで、どんなことに不安や悩みを感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 障がいや健康上のこと |
| 2. 経済的なこと |
| 3. 仕事のこと |
| 4. 日中の行き場所や過ごし方 |
| 5. 住まいのこと(アパートなどを借りるときの保証人の問題、公営住宅への入居など) |
| 6. 結婚のこと |
| 7. 子育てのこと |
| 8. 家庭内の問題 |
| 9. 友人関係、仲間との交流 |
| 10. 周囲の人の理解について |
| 11. 通院、通勤、通学のこと |
| 12. 食事や洗濯など日常のこと |
| 13. 生きがいについて |
| 14. 財産の管理 |
| 15. その他 () |
| 16. 特にない |

とい 問33 生活の中で困っていることや不安・悩みを誰（どこ）に相談していますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 市や県等の職員 | 2. 障がい者生活支援センターの職員等 |
| 3. 障がい者相談員や民生委員、福祉委員 | 4. 障がい者団体 |
| 5. 家族 | 6. 友人・知人、近所の人 |
| 7. ボランティア等の福祉団体 | 8. 入所・通所している福祉施設の職員 |
| 9. ホームヘルパーや訪問看護師等 | 10. 病院・診療所の医師や看護師等 |
| 11. 学校・職場の関係者 | 12. その他（ ） |
| 13. 相談する人がいない | |

とい 問34 障がい者に対する市民の理解について、どのように感じていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 理解がある | 2. どちらかといえば理解がある |
| 3. どちらかといえば理解がない | 4. 理解がない |
| 5. どちらともいえない | |

とい 問35 あなたは、普段の暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------|-------------|
| 1. あると思う | 2. 少しはあると思う |
| 3. ないと思う | 4. わからない |

→ とい 問35-1 （問35で1・2のいずれかを選んだ方のみお答えください）差別や偏見をどのような場所で感じますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|----------------------------------|
| 1. まちなかでの人の視線 |
| 2. 行政職員の応対、態度 |
| 3. 店での扱いや店員の態度 |
| 4. 仕事や収入 |
| 5. 教育の機会 |
| 6. 近所づきあい |
| 7. 地域の行事や集まり |
| 8. 交通機関や建物の構造が障がい者の利用に配慮されていないこと |
| 9. その他（ ） |

とい 問36 5年前と比べて障がい者への差別や偏見は改善されたと思いますか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. かなり改善されている | 2. ある程度改善されている |
| 3. あまり改善されていない | 4. ほとんど改善されていない |
| 5. どちらともいえない | 6. わからない |

福祉全般についておたずねします

問37 障がいがある人に対する支援として、行政(国・県・市)はどのようなことを充実すべきだと思いますか。(〇は5つまで)

1. 障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や人権教育の充実
2. 障がいの特性や程度に応じた障がい児保育・教育の充実
3. 市の審議会や委員会等への障がい者の参画(登用)
4. 就労支援の充実(働くための訓練や職業紹介、就労後の指導や支援等)
5. 年金や手当等の充実
6. 公営住宅への障がい者優先入居等住宅施策の充実
7. グループホーム等の地域で共同生活できる住まいの整備
8. 障がい者の結婚や子育て等に対する支援の充実
9. 機能回復訓練等リハビリテーションの充実
10. 在宅生活を支えるための医療の充実
11. 通院・治療のための医療費の助成
12. ホームヘルプやデイサービス、外出支援等の在宅サービスの充実
13. 入所できる福祉施設の充実
14. 障がい者に対する情報提供や相談窓口の充実
15. 障がい者同士や地域の人等と交流ができる場の整備
16. ボランティアの育成と活動支援
17. 文化・スポーツ・レクリエーション等を通じた社会参加の支援
18. 緊急時や災害時の支援体制の充実
19. 障がい者にやさしいまちづくりの推進(公共施設や民間施設、公共交通機関、道路等の
※バリアフリー化や※ユニバーサルデザイン化)
20. その他()
21. 特にない

※バリアフリー: バリアフリーとは、バリア(障壁)をなくすという意味です。この場合は、建物内の段差をなくしたり、出入口や廊下の幅員を広げる等、障がい者や高齢者等が生活しやすい環境をつくるために、支障となる物理的なバリア(障壁)を取り除くことを意味します。

※ユニバーサルデザイン: バリア(障壁)を除去するというバリアフリーの考え方に対して、あらかじめ障がいの有無や年齢、性別、人種等にかかわらず様々な人々が利用しやすいように都市や生活環境をデザインするという考え方のことです。

とい ねんまえ くら ふくし きょういく こよう しょう しゃしやく すす おも
問38 5年前と比べて福祉・教育・雇用・まちづくりなどの障がい者施策は進んだと思
いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. かなり進んだと思う | 2. ある程度進んだと思う |
| 3. あまり進んだと思わない | 4. ほとんど進んだと思わない |
| 5. どちらともいえない | 6. わからない |

きょうりよく
ご協力ありがとうございました。

しょう しゃふくし ふだん かんが しょうらい
障がい者福祉についてあなたが普段お考えになっていることや、あなたの将来の
ゆめ きぼう なん けっこう じゆう か
夢や希望など、何でも結構ですので、ご自由にお書きください。

ちようさひょう かいとう きにゆう
◎この調査票はどなたが回答・記入しましたか。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 本人が全部回答または記入した |
| 2. 他の人が本人の意思を確認しながら記入した |
| 3. 本人の意思を確認するのは困難であり、他の人が回答または記入した |
| 4. その他 () |

飯塚市 障がい福祉に関するアンケート調査

ちょうさひょう
(調査票B)

見本

【ご協力のお願い】

日頃から飯塚市の障がい福祉行政にご理解、ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

飯塚市では、障がいのある方が、地域で自立し、かつ、安心して生活できる環境づくりを進めるため、令和5年度中に「飯塚市障がい者計画」を策定する予定です。

この調査は、計画策定の基礎資料とするため、市内にお住まいの療育手帳をお持ちの18歳以上の方から無作為に抽出した約400人の方を対象に、日常生活の状況やご要望等をおうかがいするために行うものです。

なお、この調査票にお名前を書く必要はなく、調査結果は「対象者の〇〇%がこのような要望を持っている」というふうに、すべて統計的な処理にのみ使用します。したがって、あなたのお名前や回答の内容が他の人に知られることはありませんので、安心してお答えください。

お忙しいところお手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年●月

飯塚市長

記入にあたってのご注意

- この調査票は、できる限りあて名のご本人がお答えください。
- ご本人の回答や記入が難しい場合は、主に介助されている方や、ご家族の方が、ご本人と相談したり、ご本人の立場にたってお答えください。
- ひとり暮らしなどのため、調査票への記入が難しい場合は、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。
- 鉛筆またはボールペンでご記入ください。
- 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きの指示に従ってお答えください。
- 調査票の記入が終わったら、**●月●日(●)まで**に、同封の返信用封筒に入れて、ポストに入れてください(住所やお名前を書く必要はありません)。

【調査に関するお問い合わせ先】

飯塚市 福祉部 社会・障がい者福祉課

電話：0948-22-5500 (内線1152)

F A X : 0948-21-6356

あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別、年齢についておたずねします。

(1) 性別	1. 男性	2. 女性	3. その他
(2) 年齢	満 () 歳		

問2 あなたの「療育手帳」の判定は、次のどれですか。(○は1つだけ)

1. A	2. A1	3. A2	4. A3
5. B	6. B1	7. B2	

問3 どのような診断を受けていますか(あてはまるものすべてに○)

1. 精神発達遅滞	2. ダウン症
3. 自閉症	4. 情緒障がい(適応障がいを含む)
5. 脳性マヒ	6. てんかん
7. その他の知的障がいや発達障がい	

問4 最初に障がいが発生した時期をお答えください。(疾患の場合は発病時を意味します。)(○は1つだけ)

1. 出生時から	2. 乳幼児期(0~5歳)	3. 6~17歳
4. 18~39歳	5. 40~64歳	6. 65歳以上
7. わからない		

問5 あなたは「身体障がい者手帳」を持っていますか。持っている場合、手帳に記載された総合等級は何級ですか。(○は1つだけ)

1. 1級	2. 2級	3. 3級	7. 身体障がい者手帳は持っていない
4. 4級	5. 5級	6. 6級	

問5-1 (問5で1~6を選んだ方のみお答えください)どのような障がいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 視覚	2. 聴覚	3. 平衡機能
4. 音声・言語・そしゃく機能	5. 上肢	6. 下肢
7. 体幹	8. 心臓	9. 呼吸器
10. じん臓	11. ぼうこう	12. 直腸
13. 小腸	14. 肝臓	15. 免疫

とい 問 1 1 あなたの現在の^{げんざい}お住まいは次の^{つぎ}どれですか。(○は1つだけ)

1. 自分^{じぶん}や家族^{かぞく}の持ち家^{も いえ}
2. 民間^{みんかん}の借家^{しゃくや}や賃貸^{ちんたい}アパート・マンション
3. 市営^{しえい}・県営^{けんえい}住宅^{じゅうたく}、公社^{こうしゃ}・公団^{こうだん}住宅^{じゅうたく}など
4. 社宅^{しゃたく}や会社^{かいしゃ}の寮^{りょう}、官公社^{かんこうしゃ}等の住宅^{じゅうたく}
5. 共同生活^{きょうどうせいかつ}をするためのグループホーム・ケアホーム
6. グループホーム・ケアホーム以外^{いがい}の福祉施設^{ふくししせつ} (入所^{にゅうしょちゅう}中)
7. その他 ()

とい 問 1 1-1 (問 1 1 で 1 ~ 4 を選んだ^{えら}方^{かた}のみお答え^{こた}ください) あなたは、現在^{げんざい}、どなた^{どうきよ}と同居^{どうきよ}していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 配偶者 ^{はいぐうしゃ} | 2. 父親 ^{ちちおや} |
| 3. 母親 ^{ははおや} | 4. 祖父 ^{そふ} |
| 5. 祖母 ^{そぼ} | 6. 兄弟姉妹 ^{きょうだいしまい} |
| 7. 子ども (子どもの配偶者 ^{はいぐうしゃふく} 含む) | 8. 孫 (孫の配偶者 ^{はいぐうしゃふく} 含む) |
| 9. その他の家族 ^{かぞく} ・親族 ^{しんぞく} | 10. 家族以外 ^{かぞくいがい} の人 ^{ひと} |
| 11. その他 () | 12. いない (一人暮らし ^{ひとりぐらし}) |

とい 問 1 1-2 (問 1 1 で 6 を選んだ^{えら}方^{かた}のみお答え^{こた}ください) 現在^{げんざい}入所^{にゅうしょ}している施設^{しせつ}での生活^{せいかつ}に満足^{まんぞく}していますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 1. 満足 ^{まんぞく} | 2. どちらかといえば満足 ^{まんぞく} | 3. どちらかといえば不満 ^{ふまん} |
| 4. 不満 ^{ふまん} | 5. わからない | |

とい 問 1 1-3 (問 1 1 で 6 を選んだ^{えら}方^{かた}のみお答え^{こた}ください) あなたは、将来^{しょうらい}、どのよう^{よう}に暮らし^くたいですか。(○は1つだけ)

1. 施設^{しせつ}でずっと暮らし^くたい
2. 自宅^{じたく}に戻^{もど}って暮らし^くたい
3. 施設^{しせつ}を出^でて、アパートなどを借^かりて暮らし^くたい
4. 施設^{しせつ}を出^でて、グループホームなどで暮らし^くたい
5. その他 ()
6. わからない

次^じページ^{ぺいじ}問 1 1-4 へお進^{すす}みください

問 1 1 - 4 (問 1 1 - 3 で 1 を選んだ方のみお答えください) その理由はなぜですか。(○は1つだけ)

1. 施設を出て生活することに、不安や問題があるから
2. 施設での生活に満足しているから
3. その他 ()

問 1 1 - 5 (問 1 1 - 4 で 1 を選んだ方のみお答えください) どのような問題ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 住むところの問題
2. 介護・支援をしてくれる人の問題
3. 経済的な問題
4. 日常生活を送る上での問題
5. 対人関係の問題
6. なんとなく不安がある
7. その他 ()

問 1 1 - 6 (問 1 1 で 6 を選んだ方のみお答えください) あなたは、どのような条件が整えば、自宅や地域で生活できると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族と同居できること
2. 昼間の介護・支援を頼める人がいること
3. 夜間の介護・支援を頼める人がいること
4. 食事の心配をしなくていいこと (配食サービスがある等)
5. 掃除や洗濯等の家事の手伝いを頼める人がいること
6. デイサービスや作業所等に通えること
7. ショートステイ等緊急時に宿泊できる場所があること
8. ガイドヘルパーやリフト付自動車・寝台車等の外出支援のサービスがあること
9. 地域で独立して生活するためのアパートなどの住まい
10. 主治医や医療機関が近くにあること
11. 生活するのに十分な就労等による収入があること
12. 年金・手当・生活保護など経済的な面での公的な支援
13. 金銭の管理をしてくれるサービス
14. アパートを借りる際に、契約などの手続きを支援してくれるサービス
15. グループホーム等の仲間と共同生活できる場があること
16. 地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること
17. その他 ()
18. 特にない

生活状況についておたずねします

問12 あなたの身の回りの世話は、主にどなたがしていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 父母 |
| 3. 祖父母 | 4. 兄弟姉妹 |
| 5. 子ども・孫 (子ども・孫の配偶者含む) | 6. その他の家族・親族 |
| 7. 家族以外の同居人 | 8. ホームヘルパー・家事代行等 |
| 9. ボランティア等 | 10. 福祉施設や医療機関の職員 |
| 11. その他 () | 12. 必要だが世話をしてくれる人がいない |
| 13. 世話をしてもらう必要がない | |

問12-1 (問12で1~7のいずれかを選んだ方のみお答えください) 身の周りの世話をしている方が、万一病気や事故等で、一時的にお世話をすることができなくなったとした場合、どうしますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 同居家族に頼む | 2. 別居家族や親せきに頼む |
| 3. 友人・知人に頼む | 4. 近所の人に頼む |
| 5. ホームヘルパー等に頼む | 6. ボランティアに頼む |
| 7. 介助者を雇う | 8. 施設(短期入所)や病院に頼む |
| 9. その他 () | 10. 介助を頼めるところがない |
| 11. 介助を頼む必要がない | 12. 考えたことがない・わからない |

日中の過ごし方や就労状況についておたずねします

問13 あなたは、日中（平日）、主に何をして過ごしていますか。（○は1つだけ）

1. 正規の社員・従業員として働いている（自営業を含む）
2. パートやアルバイトとして働いている（家業手伝いを含む）
3. 就労支援事業所に通っている
4. 学校（4年制大学、短大、専門学校等）に通っている
5. 施設で機能訓練などを受けるサービスや医療機関のデイケア等に通っている（介護保険のサービスを除く）
6. 仲間同士の集まり等に参加している
7. 自宅で過ごしている
8. 医療機関や福祉施設等に入院・入所している
9. 介護保険のデイサービス等を利用している
10. その他（ ）

問13-1（問13で1～3のいずれかを選んだ方のみお答えください）あなたが仕事で得る月収は平均しておよそいくらくらいですか。（○は1つだけ）

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 5千円未満 | 2. 5千円～1万円未満 | 3. 1万円～3万円未満 |
| 4. 3万円～7万円未満 | 5. 7万円～11万円未満 | 6. 11万円～15万円未満 |
| 7. 15万円～20万円未満 | 8. 20万円～30万円未満 | 9. 30万円以上 |

問13-2（問13で1～3のいずれかを選んだ方のみお答えください）仕事のこととで悩んでいることや困っていることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 収入が少ない
2. 通院や病気・障がいや理由に休みを取ることが難しい
3. 勤務時間の長さや時間帯が自分にあわない
4. 仕事の内容が自分にあわない
5. 仕事の内容が難しく、覚えるのがたいへん
6. 職場でのコミュニケーションがうまくとれない
7. 障がいへの理解が得にくく、人間関係がむずかしい
8. 職場の設備が不十分で障がい者にあっていないため使いにくい
9. 職場までの通勤がたいへん
10. 障がいがない人と比べて、仕事の内容や昇進等に差がある
11. その他（ ）
12. 特にない

【問14は仕事をしている方もしていない方もお答えください】

問14 障がい者が働くために、必要な条件は何だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1. 勤務する時間や日数を調整できること
- 2. 通勤手段があること
- 3. 通院等の保障があること
- 4. 自宅で仕事ができること
- 5. 賃金が妥当であること
- 6. 障がいにあった仕事であること
- 7. 職業訓練等で就労のための技術を身につけること
- 8. ※ジョブコーチ(職場適応援助者)等職場に慣れるまで援助してくれる制度があること
- 9. 勤務場所に障がい者用の設備・機器が整っていること
- 10. 周囲が自分を理解してくれること
- 11. 職場により指導者や先輩がいること
- 12. 就労支援事業所等の福祉的就労の場を確保すること
- 13. その他 ()
- 14. 特にない

※ジョブコーチ(職場適応援助者)とは、障がいのある方の働いている職場へ付き添い、職場の中で人間関係や労働習慣の習得、コミュニケーションの仲立ち等をお手伝いし、一人で仕事ができるまで手助けする指導員のことです。事業所の方に対する受け入れ体制整備等の助言も行います。

外出についておたずねします

問 15 あなたが外出する回数はどれくらいですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に2～3回くらい | 3. 月に2～3回くらい |
| 4. 月に1回くらい | 5. 年に数回くらい | 6. 外出していない |

問 16 外出の時の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|------------|----------|
| 1. JR・電車 | 2. バス | 3. タクシー |
| 4. 自家用車 | 5. 自転車・バイク | 6. 電動カート |
| 7. 徒歩(車いすを含む) | 8. その他() | |

問 17 外出に関して、あなたはどのようなことに不便や困難を感じる人が多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 付き添ってくれる人がいない |
| 2. 多目的トイレが少ない |
| 3. 道路・建物の段差や、電車・バス等の乗り降りがたいへん |
| 4. 気軽に利用できる移送手段が少ない(福祉タクシーやリフト付きバス等) |
| 5. 障がい者用の駐車スペースや手すり、スロープ、案内表示等、障がい者に配慮した設備が不十分である |
| 6. 通路上に自転車や看板等の障がい物があつてとおりにくい |
| 7. 外出先でコミュニケーションがとりにくい |
| 8. 必要なときに、まわりの人の手助けや配慮が足りない |
| 9. まわりの人の目が気になる |
| 10. 交通費の負担が大きい |
| 11. 外出したいが、外出するところがない |
| 12. その他() |
| 13. 特にない・ほとんど外出しないのでわからない |

福祉サービスについておたずねします

問 18 現在あなたがご利用中の障がい福祉サービスはどのようなものですか。介護保険制度の利用分は除き、障がい福祉サービスの利用についてのみ、お答えください。

(あてはまるものすべてに○)

※サービスの内容を別紙で解説していますので、あわせてご覧ください。

1. 居宅介護 (ホームヘルプ)
2. 行動支援
3. 同行支援・移動支援
4. 生活介護 (通所によるデイサービス)
5. 自立訓練 (機能訓練、生活訓練)
6. 就労移行支援
7. 就労継続支援A型
8. 就労継続支援B型
9. 短期入所 (ショートステイ)
10. 日中一時支援
11. 共同生活援助 (グループホーム)
12. 共同生活介護 (ケアホーム)
13. 施設入所支援
14. 補装具 (車いす、補聴器など) の交付・修理
15. 日常生活用具の給付
16. 訪問入浴サービス
17. 訪問理髪サービス
18. 寝具乾燥及び洗濯サービス
19. 配食サービス
20. 福祉電話、緊急通報システムの貸し出し
21. 住宅改造助成事業
22. 意思疎通支援者派遣事業
23. 地域活動支援センター
24. 福祉タクシー利用券
25. 成年後見制度利用支援事業

問19 では、今後あなたが利用してみたい障がい福祉サービスはどのようなものですか。
 介護保険制度の利用分は除き、障がい福祉サービスの利用についてのみ、お答え
 ください。(あてはまるものすべてに○)

1. 居宅介護 (ホームヘルプ)
2. 行動援護
3. 同行援護・移動支援
4. 生活介護 (通所によるデイサービス)
5. 自立訓練 (機能訓練、生活訓練)
6. 就労移行支援
7. 就労継続支援A型
8. 就労継続支援B型
9. 短期入所 (ショートステイ)
10. 日中一時支援
11. 共同生活援助 (グループホーム)
12. 共同生活介護 (ケアホーム)
13. 施設入所支援
14. 補装具 (車いす、補聴器など) の交付・修理
15. 日常生活用具の給付
16. 訪問入浴サービス
17. 訪問理髪サービス
18. 寝具乾燥及び洗濯サービス
19. 配食サービス
20. 福祉電話、緊急通報システムの貸し出し
21. 住宅改造助成事業
22. 意思疎通支援者派遣事業
23. 地域活動支援センター
24. 福祉タクシー利用券
25. 成年後見制度利用支援事業

情報収集についておたずねします

問20 福祉サービスや福祉制度をはじめとする生活に必要な情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 市や県等の窓口 | 2. 市や県の広報紙やチラシ、ホームページ等 |
| 3. 障がい者生活支援センター | 4. 障がい者相談員や民生委員・児童委員 |
| 5. 障がい者団体 | 6. 家族や友人・知人 |
| 7. 入所・通所している福祉施設の職員 | 8. ボランティア等の福祉団体 |
| 9. ホームヘルパーや訪問看護師等 | 10. 病院・診療所・薬局等 |
| 11. 学校・職場 | 12. 新聞・雑誌 |
| 13. テレビ・ラジオ | 14. インターネット |
| 15. その他 () | 16. 特にない |

問21 福祉サービスや福祉制度をはじめとする生活に必要な情報を十分に入手できていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 十分 | 2. どちらかといえば十分 |
| 3. どちらかといえば不十分 | 4. 不十分 |
| 5. わからない | |

問21-1 (問21で3または4を選んだ方のみお答えください) あなたがそう思われるのはどのような理由からですか。ご自由にお書きください。

問22 あなたにとって、今後、特に充実してほしい情報は何か。(○は3つまで)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 社会情勢や福祉制度の変化等に関する情報 |
| 2. 福祉サービスの内容や利用方法等に関する情報 |
| 3. 困ったときに相談ができる機関や窓口に関する情報 |
| 4. 学校の選び方等の就学に関する情報 |
| 5. 仕事の選び方等の就職に関する情報 |
| 6. 文化・スポーツやレクリエーション、レジャー等の余暇活動に関する情報 |
| 7. 災害時の避難情報 |
| 8. ボランティア団体等に関する情報 |
| 9. その他 () |
| 10. 特にない |

災害対策についておたずねします

問23 あなたは、自宅近くの災害時の避難先を知っていますか。(〇は1つだけ)

1. 知っている 2. 知らない

問24 あなたは、仕事場や通所先、学校の近くにある災害時の避難先を知っていますか。(〇は1つだけ)

1. 知っている 2. 知らない

問25 あなたは、災害時の対策を立てていますか。(〇は1つだけ)

1. 立てている 2. 立てていない

問25-1 (問25で1を選んだ方のみお答えください) それはどのような内容のものですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 家族と避難方法を決めている
2. 地域の人等と避難方法を決めている
3. ボランティアの人に災害時の手助けを頼んでいる
4. 近所の人に災害時の手助けを頼んでいる
5. 食料や水等の防災用品を用意している
6. 必要な補装具、医療器具等はすぐに持ち出せる
7. その他 ()

問26 あなたは、災害時にひとりで避難ができますか。(〇は1つだけ)

1. できる 2. できない 3. わからない

問27 地震や台風等の大きな災害が起きた場合に、安全の確保等で頼れる人は誰ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 同居の家族
2. 近所の別居家族や親戚
3. 近所の友人・知人
4. 自治会長、隣組長など
5. 地元の消防団員
6. 民生委員、福祉委員
7. 施設の職員や仲間
8. その他 ()
9. いない

問28 地震や台風等の大きな災害が起きた場合、あなたはどのような支援が必要ですか。

(○は3つまで)

1. 薬や日常生活用具等の備蓄
2. 医療的ケアの確保
3. バリアフリー化された避難場所
4. 避難場所における多目的トイレや簡易ベッドなどの障がいに対応した設備の確保
5. 障がいに対応した災害情報の提供
6. 避難するときの介助・支援
7. コミュニケーション手段の確保
8. 障がいに対応した相談支援体制の確保
9. その他 ()
10. 特にない

問29 災害時にひとりで避難ができない方々の情報を、地域の防災組織にあらかじめ知らせおき、避難支援体制を整えておくことについて、あなたはどうか考えになりますか。(○は1つだけ)

1. 協力する
2. 方法によっては協力する
3. 協力しない

問29-1 (問29で3を選んだ方のみお答えください) それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

1. プライバシーが守れない
2. 他人の手を借りたくない
3. ほかの手段で避難できる
4. その他 ()
5. わからない

しゃかいさん か ちいき せいかつ
社会参加や地域での生活についておたずねします

問30 あなたは、^{ちいき かた}ふだん地域の^{ちいき}方とどのようなおつきあいをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 会えばあいさつしあう^{ていど}程度
2. 世間話を^{せけんばなし}する
3. 一緒に遊んだり、出かけたり^でする
4. 自治会等の^{じちかい}地域活動^{ちいきかつどう}と一緒に参加^{いっしょ}する
5. 盆踊りや祭り等の^{ぼんおど}行事^{まつ など}と一緒に楽しむ^{ぎょうじ いっしょ たの}
6. サークル等で^{なご}趣味^{しゅみ}やスポーツの^{かつどう}活動^{いっしょ たの}と一緒に楽しむ
7. 学校や^{がっこう}職場^{しよくば}の^{ぎょうじ}行事^{いっしょ}と一緒に参加^{さんか}する
8. 入所・通所^{にゅうしょ つうしょ}している^{しせつ}施設^{ぎょうじ}の^{なご}行事^{こうりゅう}等で交流^{こうりゅう}する
9. その他 ()
10. つきあいはしていない

問31 あなたが^{ちいき おこな}地域で^{ぎょうじ}行われる^{よ か}行事^{かつどう}や^{ぶんか}余暇活動^{ぶんか}(文化・スポーツ・レクリエーション^{かつ}活動^{かつ}等)に^{さんか}参加^{さんか}しようとした^{ばあい}場合^{ばあい}、その^{さまたげ}さまたげとなる^{こと}ことはあります^かか。(あてはまるものすべてに○)

1. どのような^{かつどう}活動^{おこな}が行^しわれている^かか知らない
2. 気軽に^{きがる}参加^{さんか}できる^{かつどう}活動^{すく}が少ない
3. 一緒に^{いっしょ}活動^{かつどう}する^{ゆうじん}友人^{なかま}・仲間^{なかま}がいない
4. 家事^{かじ}・仕事^{しごと}等^{なご}との^{つごう}都合^{むずか}が難しい
5. 活動^{かつどう}場所^{ばしょ}が^{ちか}近く^いにない^{どうしゅだん}・移動^{いどう}手段^{しゅだん}がない
6. 健康^{けんこう}や^{たいりよく}体力^{じしん}に^{じしん}自信^{じしん}がない
7. コミュニケーション^{むずか}が難しい
8. 費用^{ひよう}がかかる
9. 参加^{さんか}したくなる^{もの}ようなものがない
10. 参加^{さんか}したい^{さそ}が誘^{さそ}ってもらえない
11. 過去^{かこ}に参加^{さんか}したが^{きたい}期待^{きたい}はずれ^{だった}だった
12. その他 ()
13. 特^{とく}にない
14. 参加^{さんか}しようとは^{おも}思^{おも}わない

とい 問3 2 ^{こんご} 今後、^よ 余暇活動として、^{かつどう} どのような活動をした^{おも} と思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1. スポーツ | 2. レクリエーション |
| 3. ^{りょこう} 旅行 | 4. ^か ^{もの} 買い物 |
| 5. ボランティア活動 | 6. ※セルフヘルプ活動 |
| 7. ^{しゅみなど} 趣味等のサークル活動・ ^{かつどう} 生涯学習 | 8. ^{こうざ} 講座・ ^{こうえんかいなど} 講演会等への参加 |
| 9. ^{ちいき} 地域の行事や祭り、 ^{まつ} 学校・ ^{がっこう} 職場の行事 | 10. その他 () |
| 11. 特にない | |

※セルフヘルプ活動とは、^{かつどう} 同じような立場(病気・^{おな} 障がい等)の方たちが、^{たちば} その思いや体験を共^{おも} 有しながら、^{たいけん} 専門家^{きょうゆう} の支援・^{せんもんか} 援助を受けることなく、^{しえん} 自らも自立しながら^{えんじょう} 相互に^{みずか} 支え合う^{じりつ} ことです。

せいかつぜんぱん

生活全般についておたずねします

とい 問3 3 ^{こんご} 今後、あなたが^{じゅうじつ} 充実した生活を送ることを^{せいかつ} 考^{おく} えるうえで、^{かんが} どんなことに^{ふあん} 不安や^{なや} 悩み^{かん} を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. ^{しょう} 障がいや ^{けんこうじょう} 健康上のこと |
| 2. ^{けいざいてき} 経済的なこと |
| 3. ^{しごと} 仕事のこと |
| 4. ^{にちゅう} 日中の ^い 行き場所や ^{ぼしよ} 過 ^す ぎし方 ^{かた} |
| 5. ^す 住まいのこと(アパートなどを ^か 借りるときの ^{ほしょうにん} 保証人の ^{もんだい} 問題、 ^{こうえいじゅうたく} 公営住宅への ^{にゅうきよ} 入居など) |
| 6. ^{けっこん} 結婚のこと |
| 7. ^{こそだ} 子育てのこと |
| 8. ^{かてい} 家庭内の ^{もんだい} 問題 |
| 9. ^{ゆうじんかんけい} 友人関係、 ^{なかま} 仲間との ^{こうりゅう} 交流 |
| 10. ^{しゅうい} 周囲の人の ^{ひと} 理解について |
| 11. ^{つういん} 通院、 ^{つうきん} 通勤、 ^{つうがく} 通学のこと |
| 12. ^{しょくじ} 食事や ^{せんたく} 洗濯など ^{にちじょう} 日常のこと |
| 13. ^い 生きがいについて |
| 14. ^{ざいさん} 財産の ^{かんり} 管理 |
| 15. その他 () |
| 16. 特にない |

問34 生活の中で困っていることや不安・悩みを誰（どこ）に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 市や県等の職員 | 2. 障がい者生活支援センターの職員等 |
| 3. 障がい者相談員や民生委員、福祉委員 | 4. 障がい者団体 |
| 5. 家族 | 6. 友人・知人、近所の人 |
| 7. ボランティア等の福祉団体 | 8. 入所・通所している福祉施設の職員 |
| 9. ホームヘルパーや訪問看護師等 | 10. 病院・診療所の医師や看護師等 |
| 11. 学校・職場の関係者 | 12. その他（ ） |
| 13. 相談する人がいない | |

問35 障がい者に対する市民の理解について、どのように感じていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 理解がある | 2. どちらかといえば理解がある |
| 3. どちらかといえば理解がない | 4. 理解がない |
| 5. どちらともいえない | |

問36 あなたは、普段の暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------|-------------|
| 1. あると思う | 2. 少しはあると思う |
| 3. ないと思う | 4. わからない |

問36-1 （問36で1・2のいずれかを選んだ方のみお答えください）差別や偏見をどのような場所で感じますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|----------------------------------|
| 1. まちなかでの人の視線 |
| 2. 行政職員の対応、態度 |
| 3. 店での扱いや店員の態度 |
| 4. 仕事や収入 |
| 5. 教育の機会 |
| 6. 近所づきあい |
| 7. 地域の行事や集まり |
| 8. 交通機関や建物の構造が障がい者の利用に配慮されていないこと |
| 9. その他（ ） |

問37 5年前と比べて障がい者への差別や偏見は改善されたと思いますか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. かなり改善されている | 2. ある程度改善されている |
| 3. あまり改善されていない | 4. ほとんど改善されていない |
| 5. どちらともいえない | 6. わからない |

福祉全般についておたずねします

問38 障がいがある人に対する支援として、行政(国・県・市)はどのようなことを充実すべきだと思いますか。(〇は5つまで)

1. 障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や人権教育の充実
2. 障がいの特性や程度に応じた障がい児保育・教育の充実
3. 市の審議会や委員会等への障がい者の参画(登用)
4. 就労支援の充実(働くための訓練や職業紹介、就労後の指導や支援等)
5. 年金や手当等の充実
6. 公営住宅への障がい者優先入居等住宅施策の充実
7. グループホーム等の地域で共同生活できる住まいの整備
8. 障がい者の結婚や子育て等に対する支援の充実
9. 機能回復訓練等リハビリテーションの充実
10. 在宅生活を支えるための医療の充実
11. 通院・治療のための医療費の助成
12. ホームヘルプやデイサービス、外出支援等の在宅サービスの充実
13. 入所できる福祉施設の充実
14. 障がい者に対する情報提供や相談窓口の充実
15. 障がい者同士や地域の人等と交流ができる場の整備
16. ボランティアの育成と活動支援
17. 文化・スポーツ・レクリエーション等を通じた社会参加の支援
18. 緊急時や災害時の支援体制の充実
19. 障がい者にやさしいまちづくりの推進(公共施設や民間施設、公共交通機関、道路等の
※バリアフリー化や※ユニバーサルデザイン化)
20. その他()
21. 特にない

※バリアフリー: バリアフリーとは、バリア(障壁)をなくすという意味です。この場合は、建物内の段差をなくしたり、出入口や廊下の幅員を広げる等、障がい者や高齢者等が生活しやすい環境をつくるために、支障となる物理的なバリア(障壁)を取り除くことを意味します。

※ユニバーサルデザイン: バリア(障壁)を除去するというバリアフリーの考え方に對して、あらかじめ障がいの有無や年齢、性別、人種等にかかわらず様々な人々が利用しやすいように都市や生活環境をデザインするという考え方のことです。

とい ねんまえ くら ふくし きょういく こよう しょう しゃしやく すす おも
問39 5年前と比べて福祉・教育・雇用・まちづくりなどの障がい者施策は進んだと思
いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. かなり進んだと思う | 2. ある程度進んだと思う |
| 3. あまり進んだと思わない | 4. ほとんど進んだと思わない |
| 5. どちらともいえない | 6. わからない |

きょうりよく
ご協力ありがとうございました。

しょう しゃふくし ふだん かんが しょうらい
障がい者福祉についてあなたが普段お考えになっていることや、あなたの将来の
ゆめ きぼう なん けっこう じゆう か
夢や希望など、何でも結構ですので、ご自由にお書きください。

ちようさひょう かいとう きにゆう
◎この調査票はどなたが回答・記入しましたか。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 本人が全部回答または記入した |
| 2. 他の人が本人の意思を確認しながら記入した |
| 3. 本人の意思を確認するのは困難であり、他の人が回答または記入した |
| 4. その他 () |

いいづかししょう ふくし かん ちょうさ
飯塚市 障がい福祉に関するアンケート調査
ちょうさひょう
(調査票C)

きょうりょく ねが
【ご協力のお願い】

ひごろ いいづかし しょう ふくしきょうせい りかい きょうりょく
日頃から飯塚市の障がい福祉行政にご理解、ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

いいづかし しょう かた ちいき じりつ あんしん せいかつ かんきょう
飯塚市では、障がいのある方が、地域で自立し、かつ、安心して生活できる環境づくりを進めるため、令和5年度中に「飯塚市障がい者計画」を策定する予定です。

ちょうさ けいかくきくてい きそしりょう しな い す じりつしえんいりょう せいしんつういん
この調査は、計画策定の基礎資料とするため、市内にお住まいの自立支援医療（精神通院医療）受給者の方等から無作為に抽出した約400人の方を対象に、日常生活の状況やご要望等をおうかがいするために行うものです。

なお、この調査票にお名前を書く必要はなく、調査結果は「対象者の〇〇%がこのような要望を持っている」というふうに、すべて統計的な処理にのみ使用します。したがって、あなたのお名前や回答の内容が他の人に知られることはありませんので、安心してお答えください。

いそが てもう おてすう りかい きょうりょく ねが
お忙しいところお手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

れいわ ねん がつ
令和4年●月

いいづかしちょう
飯塚市長

きにゅう ちゅうい
記入にあたってのご注意

- この調査票は、できる限りあて名のご本人がお答えください。
- ご本人の回答や記入が難しい場合は、主に介助されている方や、ご家族の方が、ご本人と相談したり、ご本人の立場にたってお答えください。
- ひとり暮らしなどのため、調査票への記入が難しい場合は、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。
- 鉛筆またはボールペンでご記入ください。
- 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きの指示に従ってお答えください。
- 調査票の記入が終わったら、**●月●日（●）まで**に、同封の返信用封筒に入れて、ポストに入れてください（住所やお名前を書く必要はありません）。

ちょうさ かん と あ さき
【調査に関するお問い合わせ先】

いいづかし ふくしぶ しゃかい しょう しゃふくしか
飯塚市 福祉部 社会・障がい者福祉課

でん わ ないせん
電話：0948-22-5500（内線1152）

F A X : 0948-21-6356

あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別、年齢についておたずねします。

(1) 性別	1. 男性	2. 女性	3. その他
(2) 年齢	満 () 歳		

問2 あなたは精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか。

- 1. 持っている
- 2. 持っていない
- 3. わからない

問2-1 (問2で1を選んだ方のみお答えください) あなたの「精神障がい者保健福祉手帳」の等級は次のどれですか。(○は1つだけ)

等級の数字に○印 → 1 2 3
級 級 級

問2-2 (問2で2を選んだ方のみお答えください) 精神障がい者保健福祉手帳を持っていない主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

- 1. 利用価値が少ないから
- 2. 障がいを知られたくないから
- 3. 手続きがわずらわしいから
- 4. 自分是对象外であると思うから
- 5. 手帳のことを知らなかったから
- 6. その他 ()

問3 あなたの受けている診断のうち、主なものは何ですか。(○は1つだけ)

- 1. 統合失調症 (非定型精神病を含む)
- 2. そううつ病・うつ病
- 3. アルコール依存症 (薬物依存症を含む)
- 4. 認知症 (高次脳機能障がい等を含む)
- 5. 神経症 (不安神経症、強迫神経症等)
- 6. てんかん
- 7. その他 (アルペルガー症候群、人格障がい等)
- 8. 病名は知らない、聞いていない

問9 あなたは現在、医療機関や施設などで定期的に医師の診察（機能訓練、デイケアなどを含む）を受けていますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|---------|----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週1～2回 | 3. 月2～3回 |
| 4. 年数回 | 5. 入院中 | 6. 受けていない |

【問10は40歳以上の方のみお答えください】

問10 介護保険の要介護認定を受けていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 「要支援1」と認定 | 2. 「要支援2」と認定 |
| 3. 「要介護1」と認定 | 4. 「要介護2」と認定 |
| 5. 「要介護3」と認定 | 6. 「要介護4」と認定 |
| 7. 「要介護5」と認定 | 8. 審査で「非該当」になった |
| 9. 要介護認定は受けていない | |

問10-1 （問10で1～7を選んだ方のみお答えください）あなたは介護保険のサービスを利用していますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない | 3. わからない |
|-----------|------------|----------|

問11 あなたのお住まいは次のどれですか。（○は1つだけ）

- | |
|------------------------------|
| 1. 自分や家族の持ち家 |
| 2. 民間の借家や賃貸アパート・マンション |
| 3. 市営・県営住宅、公社・公団住宅等 |
| 4. 社宅や会社の寮、官公舎等の住宅 |
| 5. 共同生活をするためのグループホーム・ケアホーム |
| 6. グループホーム・ケアホーム以外の福祉施設（入所中） |
| 7. その他（ ） |

問11-1 （問11で1～4を選んだ方のみお答えください）あなたは、現在、どなたと同居していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 父親 |
| 3. 母親 | 4. 祖父 |
| 5. 祖母 | 6. 兄弟姉妹 |
| 7. 子ども（子どもの配偶者含む） | 8. 孫（孫の配偶者含む） |
| 9. その他の家族・親族 | 10. 家族以外の人 |
| 11. その他（ ） | 12. いない（一人暮らし） |

次ページ問11-2へお進みください

→ 問 1 1 - 2 (問 1 1 で 6 を選んだ方のみお答えください) 現在入所している施設での生活に満足していますか。(○は1つだけ)

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. どちらかといえば不満
4. 不満
5. わからない

→ 問 1 1 - 3 (問 1 1 で 6 を選んだ方のみお答えください) あなたは、将来、どのように暮らしたいですか。(○は1つだけ)

1. 施設ですべて暮らしたい
2. 自宅に戻って暮らしたい
3. 施設を出て、アパートなどを借りて暮らしたい
4. 施設を出て、グループホームなどで暮らしたい
5. その他 ()
6. わからない

→ 問 1 1 - 4 (問 1 1 - 3 で 1 を選んだ方のみお答えください) その理由はなぜですか。(○は1つだけ)

1. 施設を出て生活することに、不安や問題があるから
2. 施設での生活に満足しているから
3. その他 ()

→ 問 1 1 - 5 (問 1 1 - 4 で 1 を選んだ方のみお答えください) どのような問題ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 住むところの問題
2. 介護・支援をしてもらえる人の問題
3. 経済的な問題
4. 日常生活を送る上での問題
5. 対人関係の問題
6. 漠然とした不安がある
7. その他 ()

問 1 1 - 6 (問 1 1 で 6 を選んだ方のみお答えください) あなたは、どのような条件
が整えば、自宅や地域で生活できると思いますか。(あてはまるものす
べてに○)

1. 家族と同居できること
2. 昼間の介護・支援を頼める人がいること
3. 夜間の介護・支援を頼める人がいること
4. 食事の心配をしなくていいこと (配食サービスがある等)
5. 掃除や洗濯等の家事の手伝いを頼める人がいること
6. デイサービスや作業所等に通えること
7. ショートステイ等緊急時に宿泊できるところがあること
8. ガイドヘルパーやリフト付自動車・寝台車等の外出支援のサービスがあること
9. 地域で独立して生活するためのアパートなどの住まい
10. 主治医や医療機関が近くにあること
11. 生活するのに十分な就労等による収入があること
12. 年金・手当・生活保護など経済的な面での公的な支援
13. 金銭の管理をしてくれるサービス
14. アパートを借りる際に、契約などの手続きを支援してくれるサービス
15. グループホーム等の仲間と共同生活できる場があること
16. 地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること
17. その他 ()
18. 特にない

生活状況についておたずねします

問12 あなたの身の回りの世話は、主にどなたがしていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 父母 |
| 3. 祖父母 | 4. 兄弟姉妹 |
| 5. 子ども・孫 (子ども・孫の配偶者含む) | 6. その他の家族・親族 |
| 7. 家族以外の同居人 | 8. ホームヘルパー・家政婦等 |
| 9. ボランティア等 | 10. 福祉施設や医療機関の職員 |
| 11. その他 () | 12. 必要だが世話をしてくれる人がいない |
| 13. 世話をしてもらう必要がない | |

問12-1 (問12で1~7のいずれかを選んだ方のみお答えください) 身の周りの世話をしている方が、万一病気や事故等で、一時的にお世話をすることができなくなった場合、どうしますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 同居家族に頼む | 2. 別居家族や親せきに頼む |
| 3. 友人・知人に頼む | 4. 近所の人に頼む |
| 5. ホームヘルパー等に頼む | 6. ボランティアに頼む |
| 7. 介助者を雇う | 8. 施設(短期入所)や病院に頼む |
| 9. その他 () | 10. 介助を頼めるところがない |
| 11. 介助を頼む必要がない | 12. 考えたことがない・わからない |

問13 あなたの今の症状はいかがですか。(○は1つだけ)

- かなり良くなっている
- 少しずつ良くなっている
- あまり変化がない
- 少しずつ悪くなっている
- かなり悪くなっている
- 良くなったり悪くなったりと不安定である

問14 あなたは、精神的に急に具合が悪くなり、誰かの支援が必要になった場合、家族・親族以外では、誰（どこ）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 主治医やかかりつけの医療機関
2. 保健福祉環境事務所や市役所の相談窓口
3. 生活支援センターの職員や※ピアカウンセラー
4. 友人・知人、近所の人
5. 当事者団体や家族会等の関係者
6. 保健師
7. ホームヘルパーや訪問看護師等
8. その他（ ）
9. 相談するところがない
10. 相談しない

※障がいがある人が自らの経験を活かして同じ障がいがある人の相談にのることを「ピアカウンセリング」といい、「ピアカウンセラー」とはその相談相手となる人のことをさします。

日中の過ごし方や就労状況についておたずねします

問15 あなたは、日中（平日）、主に何をして過ごしていますか。（○は1つだけ）

1. 正規の社員・従業員として働いている（自営業を含む）
2. パートやアルバイトとして働いている（家業手伝いを含む）
3. 就労支援事業所に通っている
4. 学校（4年制大学、短大、専門学校等）に通っている
5. 施設で機能訓練などを受けるサービスや医療機関のデイケア等に通っている（介護保険のサービスを除く）
6. 仲間同士の集まり等に参加している
7. 自宅で過ごしている
8. 医療機関や福祉施設等に入院・入所している
9. 介護保険のデイサービス等を利用している
10. その他（ ）

問15-1（問15で1～3のいずれかを選んだ方のみお答えください）あなたが仕事で得る月収は平均しておよそいくらくらいですか。（○は1つだけ）

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 5千円未満 | 2. 5千円～1万円未満 | 3. 1万円～3万円未満 |
| 4. 3万円～7万円未満 | 5. 7万円～11万円未満 | 6. 11万円～15万円未満 |
| 7. 15万円～20万円未満 | 8. 20万円～30万円未満 | 9. 30万円以上 |

次ページ問15-2へお進みください

問 15 - 2 (問 15 で 1 ~ 3 のいずれかを選んだ方のみお答えください) 仕事のことで悩んでいることや困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 収入が少ない
2. 通院や病氣・障がいや理由に休みを取ることが難しい
3. 勤務時間の長さや時間帯が自分にあわない
4. 仕事の内容が自分にあわない
5. 仕事の内容が難しく、覚えるのがたいへん
6. 職場でのコミュニケーションがうまくとれない
7. 障がいへの理解が得にくく、人間関係がむずかしい
8. 職場の設備が不十分で障がい者にあっていないため使いにくい
9. 職場までの通勤がたいへん
10. 障がいがない人と比べて、仕事の内容や昇進等に差がある
11. その他 ()
12. 特にない

【問 16 は仕事をしている方もしていない方もお答えください】

問 16 障がい者が働くために、必要な条件は何だと思いますか。(○は3つまで)

1. 勤務する時間や日数を調整できること
2. 通勤手段があること
3. 通院等の保障があること
4. 自宅で仕事ができること
5. 賃金が妥当であること
6. 障がいにあった仕事であること
7. 職業訓練等で就労のための技術を身につけること
8. ※ジョブコーチ(職場適応援助者)等職場に慣れるまで援助してくれる制度があること
9. 勤務場所に障がい者用の設備・機器が整っていること
10. 周囲が自分を理解してくれること
11. 職場により指導者や先輩がいること
12. 就労支援事業所等の福祉的就労の場を確保すること
13. その他 ()
14. 特にない

※ジョブコーチ(職場適応援助者)とは、障がいのある方の働いている職場へ付き添い、職場の中で人間関係や労働習慣の習得、コミュニケーションの仲立ち等をお手伝いし、一人で仕事ができるまで手助けする指導員のことです。事業所の方に対する受け入れ体制整備等の助言も行います。

外出についておたずねします

問17 あなたが外出する回数はどれくらいですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に2～3回くらい | 3. 月に2～3回くらい |
| 4. 月に1回くらい | 5. 年に数回くらい | 6. 外出していない |

問18 外出の時の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|------------|----------|
| 1. JR・電車 | 2. バス | 3. タクシー |
| 4. 自家用車 | 5. 自転車・バイク | 6. 電動カート |
| 7. 徒歩(車いすを含む) | 8. その他() | |

問19 外出に関して、あなたはどのようなことに不便や困難を感じる人が多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 付き添ってくれる人がいない |
| 2. 多目的トイレが少ない |
| 3. 道路・建物の段差や、電車・バス等の乗り降りがたいへん |
| 4. 気軽に利用できる移送手段が少ない(福祉タクシーやリフト付きバス等) |
| 5. 障がい者用の駐車スペースや手すり、スロープ、案内表示等、障がい者に配慮した設備が不十分である |
| 6. 通路上に自転車や看板等の障がい物があつてとおりにくい |
| 7. 外出先でコミュニケーションがとりにくい |
| 8. 必要なときに、まわりの人の手助けや配慮が足りない |
| 9. まわりの人の目が気になる |
| 10. 交通費の負担が大きい |
| 11. 外出したいが、外出するところがない |
| 12. その他() |
| 13. 特にない・ほとんど外出しないのでわからない |

福祉サービスについておたずねします

問 2 0 現在あなたがご利用中の障がい福祉サービスはどのようなものですか。介護保険制度の利用分は除き、障がい福祉サービスの利用についてのみ、お答えください。

(あてはまるものすべてに○)

※サービスの内容を別紙で解説していますので、あわせてご覧ください。

1. 居宅介護 (ホームヘルプ)
2. 行動支援
3. 同行支援・移動支援
4. 生活介護 (通所によるデイサービス)
5. 自立訓練 (機能訓練、生活訓練)
6. 就労移行支援
7. 就労継続支援A型
8. 就労継続支援B型
9. 短期入所 (ショートステイ)
10. 日中一時支援
11. 共同生活援助 (グループホーム)
12. 共同生活介護 (ケアホーム)
13. 施設入所支援
14. 補装具 (車いす、補聴器など) の交付・修理
15. 日常生活用具の給付
16. 訪問入浴サービス
17. 訪問理髪サービス
18. 寝具乾燥及び洗濯サービス
19. 配食サービス
20. 福祉電話、緊急通報システムの貸し出し
21. 住宅改造助成事業
22. 意思疎通支援者派遣事業
23. 地域活動支援センター
24. 福祉タクシー利用券
25. 成年後見制度利用支援事業

とい
問2 1 では、今後あなたが利用してみたい障がい福祉サービスはどのようなものですか。
介護保険制度の利用分は除き、障がい福祉サービスの利用についてのみ、お答え
ください。(あてはまるものすべてに○)

1. 居宅介護 (ホームヘルプ)
2. 行動援護
3. 同行援護・移動支援
4. 生活介護 (通所によるデイサービス)
5. 自立訓練 (機能訓練、生活訓練)
6. 就労移行支援
7. 就労継続支援A型
8. 就労継続支援B型
9. 短期入所 (ショートステイ)
10. 日中一時支援
11. 共同生活援助 (グループホーム)
12. 共同生活介護 (ケアホーム)
13. 施設入所支援
14. 補装具 (車いす、補聴器など) の交付・修理
15. 日常生活用具の給付
16. 訪問入浴サービス
17. 訪問理髪サービス
18. 寝具乾燥及び洗濯サービス
19. 配食サービス
20. 福祉電話、緊急通報システムの貸し出し
21. 住宅改造助成事業
22. 意思疎通支援者派遣事業
23. 地域活動支援センター
24. 福祉タクシー利用券
25. 成年後見制度利用支援事業

情報収集についておたずねします

問 2 2 福祉サービスや福祉制度をはじめとする生活に必要な情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 市や県等の窓口 | 2. 市や県の広報紙やチラシ、ホームページ等 |
| 3. 障がい者生活支援センター | 4. 障がい者相談員や民生委員・児童委員 |
| 5. 障がい者団体 | 6. 家族や友人・知人 |
| 7. 入所・通所している福祉施設の職員 | 8. ボランティア等の福祉団体 |
| 9. ホームヘルパーや訪問看護師等 | 10. 病院・診療所・薬局等 |
| 11. 学校・職場 | 12. 新聞・雑誌 |
| 13. テレビ・ラジオ | 14. インターネット |
| 15. その他 () | 16. 特にない |

問 2 3 福祉サービスや福祉制度をはじめとする生活に必要な情報を十分に入手できていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 十分 | 2. どちらかといえば十分 |
| 3. どちらかといえば不十分 | 4. 不十分 |
| 5. わからない | |

問 2 3 - 1 (問 2 3 で 3 または 4 を 選んだ方のみお答えください) あなたがそう思われるのはどのような理由からですか。ご自由にお書きください。

問 2 4 あなたにとって、今後、特に充実してほしい情報は何か。(○は3つまで)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 社会情勢や福祉制度の変化等に関する情報 |
| 2. 福祉サービスの内容や利用方法等に関する情報 |
| 3. 困ったときに相談ができる機関や窓口に関する情報 |
| 4. 学校の選び方等の就学に関する情報 |
| 5. 仕事の選び方等の就職に関する情報 |
| 6. 文化・スポーツやレクリエーション、レジャー等の余暇活動に関する情報 |
| 7. 災害時の避難情報 |
| 8. ボランティア団体等に関する情報 |
| 9. その他 () |
| 10. 特にない |

災害対策についておたずねします

問25 あなたは、自宅近くの災害時の避難先を知っていますか。(〇は1つだけ)

1. 知っている 2. 知らない

問26 あなたは、仕事場や通所先、学校の近くにある災害時の避難先を知っていますか。(〇は1つだけ)

1. 知っている 2. 知らない

問27 あなたは、災害時の対策を立てていますか。(〇は1つだけ)

1. 立てている 2. 立っていない

問27-1 (問27で1を選んだ方のみお答えください) それはどのような内容のものですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 家族と避難方法を決めている
2. 地域の人等と避難方法を決めている
3. ボランティアの人に災害時の手助けを頼んでいる
4. 近所の人に災害時の手助けを頼んでいる
5. 食料や水等の防災用品を用意している
6. 必要な補装具、医療器具等はすぐに持ち出せる
7. その他 ()

問28 あなたは、災害時にひとりで避難ができますか。(〇は1つだけ)

1. できる 2. できない 3. わからない

問29 地震や台風等の大きな災害が起きた場合に、安全の確保等で頼れる人は誰ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 同居の家族
2. 近所の別居家族や親戚
3. 近所の友人・知人
4. 自治会長、隣組長など
5. 地元の消防団員
6. 民生委員、福祉委員
7. 施設の職員や仲間
8. その他 ()
9. いない

問30 地震や台風等の大きな災害が起きた場合、あなたはどのような支援が必要ですか。

(○は3つまで)

1. 薬や日常生活用具等の備蓄
2. 医療的ケアの確保
3. バリアフリー化された避難場所
4. 避難場所における多目的トイレや簡易ベッドなどの障がいに対応した設備の確保
5. 障がいに対応した災害情報の提供
6. 避難するときの介助・支援
7. コミュニケーション手段の確保
8. 障がいに対応した相談支援体制の確保
9. その他 ()
10. 特にない

問31 災害時にひとりで避難ができない方々の情報を、地域の防災組織にあらかじめ知らせおき、避難支援体制を整えておくことについて、あなたはどうか考えになりますか。(○は1つだけ)

1. 協力する
2. 方法によっては協力する
3. 協力しない

問31-1 (問31で3を選んだ方のみお答えください) それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

1. プライバシーが守れない
2. 他人の手を借りたくない
3. ほかの手段で避難できる
4. その他 ()
5. わからない

しゃかいさん か ちいき せいかつ
社会参加や地域での生活についておたずねします

問32 あなたは、ふだん地域の方とどのようなおつきあいをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 会えばあいさつしあう程度
2. 世間話をする
3. 一緒に遊んだり、出かけたりする
4. 自治会等の地域活動と一緒に参加する
5. 盆踊りや祭り等の行事と一緒に楽しむ
6. サークル等で趣味やスポーツの活動と一緒に楽しむ
7. 学校や職場の行事と一緒に参加する
8. 入所・通所している施設の行事等で交流する
9. その他 ()
10. つきあいはしていない

問33 あなたが地域で行われる行事や余暇活動(文化・スポーツ・レクリエーション活動等)に参加しようとした場合、そのさまたげとなることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. どのような活動が行われているか知らない
2. 気軽に参加できる活動が少ない
3. 一緒に活動する友人・仲間がいない
4. 家事・仕事等との都合が難しい
5. 活動場所が近くにない・移動手段がない
6. 健康や体力に自信がない
7. コミュニケーションが難しい
8. 費用がかかる
9. 参加したくなるようなものがない
10. 参加したいが誘ってもらえない
11. 過去に参加したが期待はずれだった
12. その他 ()
13. 特にない
14. 参加しようとは思わない

問34 今後、余暇活動として、どのような活動をしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. スポーツ | 2. レクリエーション |
| 3. 旅行 | 4. 買い物 |
| 5. ボランティア活動 | 6. ※セルフヘルプ活動 |
| 7. 趣味等のサークル活動・生涯学習 | 8. 講座・講演会等への参加 |
| 9. 地域の行事や祭り、学校・職場の行事 | 10. その他 () |
| 11. 特にない | |

※セルフヘルプ活動とは、同じような立場(病気・障がい等)の方たちが、その思いや体験を共有しながら、専門家の支援・援助を受けることなく、自らも自立しながら相互に支え合うことです。

生活全般についておたずねします

問35 今後、あなたが充実した生活を送ることを考えるうえで、どんなことに不安や悩みを感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 障がいや健康上のこと |
| 2. 経済的なこと |
| 3. 仕事のこと |
| 4. 日中の行き場所や過ごし方 |
| 5. 住まいのこと (アパートなどを借りるときの保証人の問題、公営住宅への入居など) |
| 6. 結婚のこと |
| 7. 子育てのこと |
| 8. 家庭内の問題 |
| 9. 友人関係、仲間との交流 |
| 10. 周囲の人の理解について |
| 11. 通院、通勤、通学のこと |
| 12. 食事や洗濯など日常のこと |
| 13. 生きがいについて |
| 14. 財産の管理 |
| 15. その他 () |
| 16. 特にない |

とい 問36 生活の中で困っていることや不安・悩みを誰（どこ）に相談していますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 市や県等の職員 | 2. 障がい者生活支援センターの職員等 |
| 3. 障がい者相談員や民生委員、福祉委員 | 4. 障がい者団体 |
| 5. 家族 | 6. 友人・知人、近所の人 |
| 7. ボランティア等の福祉団体 | 8. 入所・通所している福祉施設の職員 |
| 9. ホームヘルパーや訪問看護師等 | 10. 病院・診療所の医師や看護師等 |
| 11. 学校・職場の関係者 | 12. その他（ ） |
| 13. 相談する人がいない | |

とい 問37 障がい者に対する市民の理解について、どのように感じていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 理解がある | 2. どちらかといえば理解がある |
| 3. どちらかといえば理解がない | 4. 理解がない |
| 5. どちらともいえない | |

とい 問38 あなたは、普通の暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------|-------------|
| 1. あると思う | 2. 少しはあると思う |
| 3. ないと思う | 4. わからない |

→ とい 問38-1 （問38で1・2のいずれかを選んだ方のみお答えください）差別や偏見をどのような場所で感じますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|----------------------------------|
| 1. まちなかでの人の視線 |
| 2. 行政職員の応対、態度 |
| 3. 店での扱いや店員の態度 |
| 4. 仕事や収入 |
| 5. 教育の機会 |
| 6. 近所づきあい |
| 7. 地域の行事や集まり |
| 8. 交通機関や建物の構造が障がい者の利用に配慮されていないこと |
| 9. その他（ ） |

とい 問39 5年前と比べて障がい者への差別や偏見は改善されたと思いますか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. かなり改善されている | 2. ある程度改善されている |
| 3. あまり改善されていない | 4. ほとんど改善されていない |
| 5. どちらともいえない | 6. わからない |

問40 障がいがある人に対する支援として、行政(国・県・市)はどのようなことを充実すべきだと思いますか。(〇は5つまで)

1. 障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や人権教育の充実
2. 障がいの特性や程度に応じた障がい児保育・教育の充実
3. 市の審議会や委員会等への障がい者の参画(登用)
4. 就労支援の充実(働くための訓練や職業紹介、就労後の指導や支援等)
5. 年金や手当等の充実
6. 公営住宅への障がい者優先入居等住宅施策の充実
7. グループホーム等の地域で共同生活できる住まいの整備
8. 障がい者の結婚や子育て等に対する支援の充実
9. 機能回復訓練等リハビリテーションの充実
10. 在宅生活を支えるための医療の充実
11. 通院・治療のための医療費の助成
12. ホームヘルプやデイサービス、外出支援等の在宅サービスの充実
13. 入所できる福祉施設の充実
14. 障がい者に対する情報提供や相談窓口の充実
15. 障がい者同士や地域の人等と交流ができる場の整備
16. ボランティアの育成と活動支援
17. 文化・スポーツ・レクリエーション等を通じた社会参加の支援
18. 緊急時や災害時の支援体制の充実
19. 障がい者にやさしいまちづくりの推進(公共施設や民間施設、公共交通機関、道路等の
※バリアフリー化や※ユニバーサルデザイン化)
20. その他()
21. 特にない

※バリアフリー: バリアフリーとは、バリア(障壁)をなくすという意味です。この場合は、建物内の段差をなくしたり、出入口や廊下の幅員を広げる等、障がい者や高齢者等が生活しやすい環境をつくるために、支障となる物理的なバリア(障壁)を取り除くことを意味します。

※ユニバーサルデザイン: バリア(障壁)を除去するというバリアフリーの考え方に対して、あらかじめ障がいの有無や年齢、性別、人種等にかかわらず様々な人々が利用しやすいように都市や生活環境をデザインするという考え方のことです。

とい
問4 1 5年前と比べて福祉・教育・雇用・まちづくりなどの障がい者施策は進んだと思
いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. かなり進んだと思う | 2. ある程度進んだと思う |
| 3. あまり進んだと思わない | 4. ほとんど進んだと思わない |
| 5. どちらともいえない | 6. わからない |

きょうりよく
ご協力ありがとうございました。

しょう しゃふくし ふだん かんが しょうらい
障がい者福祉についてあなたが普段お考えになっていることや、あなたの将来の
ゆめ きぼう なん けっこう じゆう か
夢や希望など、何でも結構ですので、ご自由にお書きください。

ちようさひょう かいとう きにゆう
◎この調査票はどなたが回答・記入しましたか。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 本人が全部回答または記入した |
| 2. 他の人が本人の意思を確認しながら記入した |
| 3. 本人の意思を確認するのは困難であり、他の人が回答または記入した |
| 4. その他 () |

いいづかししょう ふくし かん ちょうさ
飯塚市 障がい福祉に関するアンケート調査
 ちょうさひょう
(調査票D)

きょうりよく ねが
【ご協力のお願い】

ひごろ いいづかし しょう ふくしきょうせい りかい きょうりよく
 日頃から飯塚市の障がい福祉行政にご理解、ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

いいづかし しょう かい ちいき じりつ あんしん せいかつ かんきょう
 飯塚市では、障がいのある方が、地域で自立し、かつ、安心して生活できる環境づくりを進めるため、令和5年度中に「飯塚市障がい者計画」を策定する予定です。

ちょうさ けいかくさくてい きそしりょう しなない す さいみまん しょう
 この調査は、計画策定の基礎資料とするため、市内にお住まいの18歳未満の障がいがあるお子さん（身体障がい者手帳または療育手帳をお持ちのお子さん等）から無作為に抽出した約250人のお子さんの保護者の方を対象に、日常生活の状況やご要望等をおうかがいするために行うものです。

なお、この調査票にお名前を書く必要はなく、調査結果は「対象者の〇〇%がこのような要望を持っている」というふうに、すべて統計的な処理にのみ使用します。したがって、お子さんのお名前や回答の内容が他の人に知られることはありませんので、安心してお答えください。

いそが いてすう りかい きょうりよく ねが
 お忙しいところお手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

れいわ ねん がつ
 令和4年●月

いいづかしちょう
 飯塚市長

きにゆう ちゅうい
記入にあたってのご注意

- この調査票は、あて名のお子さんの保護者の方がお答えください。
- 鉛筆またはボールペンでご記入ください。
- 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きの指示に従ってお答えください。
- 調査票の記入が終わったら、●月●日（●）までに、同封の返信用封筒に入れて、ポストに入れてください（住所やお名前を書く必要はありません）。

ちょうさ かん と あ さき
【調査に関するお問い合わせ先】

いいづかし ふくしぶ しゃかい しょう しゃふくしか
 飯塚市 福祉部 社会・障がい者福祉課

でん わ ないせん
 電話：0948-22-5500（内線1152）

F A X : 0948-21-6356

お子さんやご家族のこと等についておたずねします

問1 お子さんの性別、年齢についておたずねします。

(1) 性別	1. 男性	2. 女性	3. その他
(2) 年齢	満 () 歳		

問2 あなたのお子さんがお持ちの障がい者手帳の種類は何ですか。(○は1つだけ)

1. 身体障がい者手帳のみ	2. 療育手帳のみ
3. 身体障がい者手帳と療育手帳	4. 精神障がい者保健福祉手帳のみ
5. 身体障がい者手帳と精神障がい者保健福祉手帳	6. 療育手帳と精神障がい者保健福祉手帳
7. 身体障がい者手帳と療育手帳と精神障がい者保健福祉手帳	8. 手帳は持っていない

問2-1 (お子さんが身体障がい者手帳をお持ちの方のみお答えください) お子さんの身体障がい者手帳に記載された総合等級は何級ですか。(○は1つだけ)

等級の数字に○印 → 1 2 3 4 5 6
級 級 級 級 級 級

問2-2 (お子さんが身体障がい者手帳をお持ちの方のみお答えください) お子さんの身体障がい者手帳に記載されたもののうち、主な障がいはどれですか。(○は1つだけ)

1. 視覚	2. 聴覚	3. 平衡機能
4. 音声・言語・そしゃく機能	5. 上肢	6. 下肢
7. 体幹	8. 心臓	9. 呼吸器
10. じん臓	11. ぼうこう	12. 直腸
13. 小腸	14. 肝臓	15. 免疫

問2-3 (お子さんが身体障がい者手帳をお持ちの方のみお答えください) 問2-2で回答した障がいのほかに、「重複する障がい」がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 視覚	2. 聴覚	3. 平衡機能
4. 音声・言語・そしゃく機能	5. 上肢	6. 下肢
7. 体幹	8. 心臓	9. 呼吸器
10. じん臓	11. ぼうこう	12. 直腸
13. 小腸	14. 肝臓	15. 免疫
16. 重複する障がいはない		

問2-4 (お子さんが療育手帳をお持ちの方のみお答えください) あなたのお子さんの「療育手帳」の判定は、次のどれですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 1. A | 2. A1 | 3. A2 | 4. A3 |
| 5. B | 6. B1 | 7. B2 | |

問3 あなたのお子さんは、以下のような診断を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 発達障がい | 2. ダウン症 |
| 3. 自閉症 | 4. 情緒障がい(適応障がいを含む) |
| 5. 脳性マヒ | 6. てんかん |
| 7. アスペルガー症候群 | 8. 学習障がい(LD) |
| 9. 注意欠陥・多動性障がい(ADHD) | 10. その他の知的障がいや発達障がい |
| 11. 知的障がいや発達障がいの診断を受けていない | |

問4 お子さんの障がいが最初に発生した時期をお答えください。(疾患の場合は発病時を意味します。)(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1. 出生時から | 2. 0歳 | 3. 1~2歳 |
| 4. 3~5歳 | 5. 6~12歳 | 6. 13~17歳 |
| 7. わからない | | |

問5 お子さんは、障がい福祉サービスを利用するための区分認定を受けていますか。認定を受けている場合、区分についても○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 認定を受けていない |
| 2. 認定を受けている |
| → ①区分1 ②区分2 ③区分3 ④区分4 ⑤区分5 ⑥区分6 |

問6 お子さんは、現在、医療機関や施設などで定期的に医師の診察(機能訓練、デイケアなどを含む)を受けていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週1~2回 | 3. 月2~3回 |
| 4. 年数回 | 5. 入院中 | 6. 受けていない |

問7 お子さんの現在のお住まいは次のどれですか。(○は1つだけ)

1. 自分や家族の持ち家
2. 民間の借家や賃貸アパート・マンション
3. 市営・県営住宅、公社・公団住宅等
4. 社宅や会社の寮、官公社等の住宅
5. 学校の寮
6. 共同生活をするためのグループホーム・ケアホーム
7. グループホーム・ケアホーム以外の福祉施設(入所中)
8. その他()

問7-1 (問7で1~4を選んだ方のみお答えください) お子さんは、現在、どなたと同居していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 父親
2. 母親
3. 祖父
4. 祖母
5. 兄弟姉妹
6. その他の家族・親族
7. 家族以外の人
8. その他()

問7-2 (問7で7を選んだ方のみお答えください) 現在入所している施設での対応に満足していますか。(○は1つだけ)

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. どちらかといえば不満
4. 不満
5. わからない

問7-3 (問7で7を選んだ方のみお答えください) お子さんには、将来、どのように暮らしてほしいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 施設ですべて暮らしてほしい
2. 自宅に戻って暮らしてほしい
3. 施設を出て、アパートなどを借りて暮らしてほしい
4. 施設を出て、グループホームなどで暮らしてほしい
5. その他()
6. わからない

次ページ問7-4へお進みください

問7-4 (問7-3で1を選んだ方のみお答えください) その理由はなぜですか。

(○は1つだけ)

1. 施設を出て生活することに、不安や問題があるから
2. 施設での生活に満足しているから
3. その他 ()

問7-5 (問7-4で1を選んだ方のみお答えください) どのような問題ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 住むところの問題
2. 介護・支援をしてくれる人の問題
3. 経済的な問題
4. 日常生活を送る上での問題
5. 対人関係の問題
6. なんとなく不安がある
7. その他 ()

問7-6 (問7で7を選んだ方のみお答えください) あなたは、どのような条件が

整えば、お子さんが自宅や地域で生活できると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族と同居できること
2. 昼間の介護・支援を頼める人がいること
3. 夜間の介護・支援を頼める人がいること
4. 食事の心配をしなくていいこと (配食サービスがある等)
5. 掃除や洗濯等の家事の手伝いを頼める人がいること
6. デイサービスや作業所等に通えること
7. ショートステイ等緊急時に宿泊できる場所があること
8. ガイドヘルパーやリフト付自動車・寝台車等の外出支援のサービスがあること
9. 地域で独立して生活するためのアパートなどの住まい
10. 主治医や医療機関が近くにあること
11. 生活するのに十分な就労等による収入があること
12. 年金・手当・生活保護など経済的な面での公的な支援
13. 金銭の管理をしてくれるサービス
14. アパートを借りる際に、契約などの手続きを支援してくれるサービス
15. グループホーム等の仲間と共同生活できる場があること
16. 地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること
17. その他 ()
18. 特にない

生活状況についておたずねします

問8 お子さんの身の回りの世話は、主にどなたがしていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 父母 | 2. 祖父母 |
| 3. 兄弟姉妹 | 4. その他の家族・親族 |
| 5. 家族以外の同居人 | 6. ホームヘルパー・家政婦等 |
| 7. ボランティア等 | 8. 福祉施設や医療機関の職員 |
| 9. その他 () | 10. 必要だが世話をしてくれる人がいない |
| 11. 世話をしてもらう必要がない | |

問8-1 (問8で1~5のいずれかを選んだ方のみお答えください)身の周りの世話をしている方が、万一病気や事故等で、一時的にお世話をすることができなくなったとした場合、どうしますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 同居家族に頼む | 2. 別居家族や親せきに頼む |
| 3. 友人・知人に頼む | 4. 近所の人に頼む |
| 5. ホームヘルパー等に頼む | 6. ボランティアに頼む |
| 7. 介助者を雇う | 8. 施設(短期入所)や病院に頼む |
| 9. その他 () | 10. 介助を頼めるところがない |
| 11. 考えたことがない・わからない | |

問8-2 (問8で1~5のいずれかを選んだ方のみお答えください)お子さんの身の周りの世話をしている方が、お子さんの世話と仕事や余暇活動等の社会活動を両立しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

- | |
|--|
| 1. ホームヘルプやショートステイ等の在宅サービスを充実する |
| 2. 就学(園)児の放課後や長期休暇中の日中の預かり先を確保する |
| 3. 介助者が心身のリフレッシュを図るための支援サービス(レスパイトケア)を充実する |
| 4. 地域住民や企業等の理解を促進する |
| 5. その他 () |
| 6. 特にない |

療育等についておたずねします

問9 お子さんの障がいについて、どこで診断・判定を受けてはっきりしたことがわかりましたか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 病院・医院 | 2. 児童相談所 |
| 3. 肢体不自由児施設 | 4. 保健福祉環境事務所 |
| 5. その他 () | |

問10 お子さんの障がいの状況について、診断・判定を受けた頃、ご家族の皆さんには、どんな苦勞、悩み、不安がありましたか。(○は3つまで)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 障がいのことや福祉の制度についての情報が少なかった |
| 2. 具体的な相談相手がなかった |
| 3. 制度的な健診を早くに実施してほしかった |
| 4. 保健福祉環境事務所・病院など専門機関でもっと指導してほしかった |
| 5. 近所に適切な療育施設がほしかった |
| 6. 近所に適切な医療機関がほしかった |
| 7. 子どもの介護・介助の手助けがほしかった |
| 8. 家族が働いているため、仕事上に問題が生じた |
| 9. 医療費に悩んだ |
| 10. その他 () |
| 11. 特にない |

問11 お子さんの今後の治療や療育、訓練等について、どのような希望をお持ちですか。お子さん自身の希望に最も近いと思われるものを選んでください。(○は1つだけ)

- | |
|-------------------------|
| 1. 家庭で治療や訓練等を受けたい |
| 2. 治療や訓練等を受けられる施設に通いたい |
| 3. 治療や訓練等を受けられる施設に入所したい |
| 4. 治療や訓練等を受けられる病院に通いたい |
| 5. 治療や訓練等を受けられる病院に入院したい |
| 6. その他 () |
| 7. 特に希望はない |

ほいく きょういくなど
保育や教育等についておたずねします

と
 問12 お子さんは、現在、日中どのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

しゅうがくまえ (6歳以下) の お子さん	1. 保育園 2. 幼稚園 3. 通園施設 4. その他 () 5. どこにも通わず、自宅にいる
がっこうに通っている お子さん	6. 小・中学校 (普通学級) 7. 小・中学校 (特別支援学級) 8. 特別支援学校 (小・中・高等部)・訪問教育 9. 盲・ろう学校 10. 高等学校 11. その他 ()
がっこうを卒業した お子さん	12. 就労支援の事業所等に通っている 13. 仕事をしている 14. 職業訓練を受けている 15. 機能訓練を受けている 16. 家事をしている 17. その他 () 18. 特に何もしていない

と
 問12-1 (お子さんが、保育園・幼稚園等や学校に通っている方のみお答えください) 通園や通学に関して困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 通うのがたいへん
2. 授業等についていけない
3. トイレ等の設備が使いにくい
4. 学校内・園での介助が十分でない
5. 先生や児童・生徒の理解が十分でない
6. 友達ができない
7. 医療的なケア (吸引・導尿等) が受けられない
8. その他 ()
9. 特にない |
|--|

とい
問 1 2 - 2 (お子さんが、保育園・幼稚園等や学校に通っている方のみお答えくだ
さい) 次のような保育・教育に関する要望がありますか。(〇は3つまで)

1. 学校教育におけるノーマライゼーションの推進
2. 本人が希望する学校に入れる等、個人のニーズに応じた教育
3. 専門知識を持った教職員の加配
4. 職業教育の充実
5. 障がいに関する理解向上
6. ことばの教室等通級制度の充実
7. 学校への訪問看護師の派遣
8. 障がい児学級の教員配置の見直し
9. 進路指導の充実
10. その他 ()
11. 特にない

とい
問 1 3 お子さんが、学校(中学校または高等学校)を卒業した後の進路について、ど
のようにお考えですか。お子さん自身の希望に最も近いと思われるものを選ん
でください。(〇は1つだけ)

1. 就労支援の事業所等に通いたい
2. 施設に入って、生活訓練や職業訓練等を受けたい
3. 一般の企業等で働きたい
4. 大学等に進学したい
5. その他 ()
6. わからない・まだ小さいので考えていない

外出についておたずねします

問14 お子さんが外出する回数^{がいしゅつ かいすう}はどれくらいですか。※家族^{かぞく}やガイドヘルパー^{など}等のつきそい^{がいしゅつしえん}（外出支援）が必要な^{ひつよう}お子さんは、付き添い^{つき}がある状態^{じょうたい}としてお答えください。（○は1つだけ）（○は1つだけ）

- | | | |
|--|---|--|
| 1. ほぼ毎日 ^{まいにち} | 2. 週 ^{しゅう} に2～3回 ^{かい} くらい | 3. 月 ^{つき} に2～3回 ^{かい} くらい |
| 4. 月 ^{つき} に1回 ^{かい} くらい | 5. 年 ^{ねん} に数回 ^{すうかい} くらい | 6. 外出 ^{がいしゅつ} していない |

問15 お子さんが外出^{がいしゅつ}の時の移動手段^{とき いどうしゅだん なん}は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|--|--|--------------------------|
| 1. JR・電車 ^{でんしゃ} | 2. バス | 3. タクシー |
| 4. 自家用車 ^{じかようしゃ} | 5. 自転車・バイク ^{じてんしゃ} | 6. 電動カート ^{でんどう} |
| 7. 徒歩 ^{とほ} （車いす ^{くるま} を含む ^{ふくむ} ） | 8. その他 ^た （ <input type="text"/> ） | |

問16 お子さんの外出^{がいしゅつ}に関して、どのようなこと^{かん}に不便^{ふべん}や困難^{こんなん}を感じる^{かん}ことが多い^{おお}ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1. 付き添 ^{つきそ} ってくれる人 ^{ひと} がいない |
| 2. 多目的 ^{たもく} トイレ ^{すく} が少ない |
| 3. 道路 ^{どうろ} ・建物 ^{たてももの} の段差 ^{だんさ} や、電車 ^{でんしゃ} ・バス ^{など} 等の乗り降り ^{の お} がたいへん |
| 4. 気軽 ^{きはる} に利用 ^{りよう} できる移送手段 ^{いそうしゅだん} が少ない ^{すく} （福祉 ^{ふくし} タクシー ^や リフト ^{つき} 付きバス ^{など} 等） |
| 5. 手すり ^て 、スロープ ^{あんないひよう} 、案内表示 ^{じなど} 等、障がい者 ^{しょう} に配慮 ^{しゃ} した設備 ^{はいりよ} が不十分 ^{せつび} である |
| 6. 通路上 ^{つうろじょう} に自転車 ^{じてんしゃ} や看板 ^{かんばん} 等の障がい物 ^{しょう} があつてとおりにくい |
| 7. 外出先 ^{がいしゅつさき} でコミュニケーション ^が がとりにくい |
| 8. 必要 ^{ひつよう} なときに、まわり ^{ひと} の人の手助け ^{てだす} や配慮 ^{はいりよ} が足りない ^た |
| 9. まわり ^{ひと} の人の目 ^め が気になる ^き |
| 10. 交通費 ^{こうつうひ} の負担 ^{ふたん} が大きい ^{おお} |
| 11. 外出 ^{がいしゅつ} したいが、外出 ^{がいしゅつ} するところがない |
| 12. その他 ^た （ <input type="text"/> ） |
| 13. 特 ^{とく} にない・ほとんど ^{がいしゅつ} 外出 ^{がいしゅつ} しないのでわからない |

福祉サービスについておたずねします

問 17 現在お子さんがご利用中の障がい福祉サービスはどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

※サービスの内容を別紙で解説していますので、あわせてご覧ください。

1. 居宅介護 (ホームヘルプ)
2. 行動援護
3. 同行援護・移動支援
4. 児童発達支援・放課後等デイサービス
5. 生活介護 (通所によるデイサービス)
6. 自立訓練 (機能訓練、生活訓練)
7. 就労移行支援
8. 就労継続支援A型
9. 就労継続支援B型
10. 短期入所 (ショートステイ)
11. 日中一時支援
12. 共同生活援助 (グループホーム)
13. 共同生活介護 (ケアホーム)
14. 施設入所支援
15. 補装具 (車いす、補聴器など) の交付・修理
16. 日常生活用具の給付
17. 訪問入浴サービス
18. 訪問理髪サービス
19. 寝具乾燥及び洗濯サービス
20. 配食サービス
21. 福祉電話、緊急通報システムの貸し出し
22. 住宅改造助成事業
23. 意思疎通支援者派遣事業
24. 地域活動支援センター
25. 福祉タクシー利用券
26. 成年後見制度利用支援事業

問 18 今後お子さんが利用したい、またはお子さんに利用させたい障がい福祉サービスはどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 居宅介護 (ホームヘルプ)
2. 行動援護
3. 同行援護・移動支援
4. 児童発達支援・放課後等デイサービス
5. 生活介護 (通所によるデイサービス)
6. 自立訓練 (機能訓練、生活訓練)
7. 就労移行支援
8. 就労継続支援A型
9. 就労継続支援B型
10. 短期入所 (ショートステイ)
11. 日中一時支援
12. 共同生活援助 (グループホーム)
13. 共同生活介護 (ケアホーム)
14. 施設入所支援
15. 補装具 (車いす、補聴器など) の交付・修理
16. 日常生活用具の給付
17. 訪問入浴サービス
18. 訪問理髪サービス
19. 寝具乾燥及び洗濯サービス
20. 配食サービス
21. 福祉電話、緊急通報システムの貸し出し
22. 住宅改造助成事業
23. コミュニケーション支援事業 (意思疎通支援者派遣事業)
24. 地域活動支援センター
25. 福祉タクシー利用券
26. 成年後見制度利用支援事業

情報収集についておたずねします

問19 お子さんに関する、福祉サービスや福祉制度をはじめとする生活に必要な情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 市や県等の窓口 | 2. 市や県の広報紙やチラシ、ホームページ等 |
| 3. 障がい者生活支援センター | 4. 障がい者相談員や民生委員・児童委員 |
| 5. 障がい者団体 | 6. 家族や友人・知人 |
| 7. 入所・通所している福祉施設の職員 | 8. ボランティア等の福祉団体 |
| 9. ホームヘルパーや訪問看護師等 | 10. 病院・診療所・薬局等 |
| 11. 学校・職場 | 12. 新聞・雑誌 |
| 13. テレビ・ラジオ | 14. インターネット |
| 15. その他 () | 16. 特にない |

問20 福祉サービスや福祉制度をはじめとする生活に必要な情報を十分に入手できていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 十分 | 2. どちらかといえば十分 |
| 3. どちらかといえば不十分 | 4. 不十分 |
| 5. わからない | |

問20-1 (問20で3または4を選んだ方のみお答えください) あなたがそう思われるのはどのような理由ですか。ご自由にお書きください。

問21 あなたにとって、今後、特に充実してほしい情報は何か。(○は3つまで)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 社会情勢や福祉制度の変化等に関する情報 |
| 2. 福祉サービスの内容や利用方法等に関する情報 |
| 3. 困ったときに相談ができる機関や窓口に関する情報 |
| 4. 学校の選び方等の就学に関する情報 |
| 5. 仕事の選び方等の就職に関する情報 |
| 6. 文化・スポーツやレクリエーション、レジャー等の余暇活動に関する情報 |
| 7. 災害時の避難情報 |
| 8. ボランティア団体等に関する情報 |
| 9. その他 () |
| 10. 特にない |

問27 地震や台風等の大きな災害が起きた場合、お子さんについてどのような支援が必要ですか。(〇は3つまで)

1. 薬や日常生活用具等の備蓄
2. 医療的ケアの確保
3. バリアフリー化された避難場所
4. 避難場所における多目的トイレや簡易ベッドなどの障がいに対応した設備の確保
5. 障がいに対応した災害情報の提供
6. 避難するときの介助・支援
7. コミュニケーション手段の確保
8. 障がいに対応した相談支援体制の確保
9. その他 ()
10. 特にない

問28 災害時にひとりで避難ができない方々の情報を、地域の防災組織にあらかじめ知らせておき、避難支援体制を整えておくことについて、あなたはどうか考えになりますか。(〇は1つだけ)

1. 協力する
2. 方法によっては協力する
3. 協力しない

問28-1 (問28で3を選んだ方のみお答えください) それはなぜですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. プライバシーが守れない
2. 他人の手を借りたくない
3. ほかの手段で避難できる
4. その他 ()
5. わからない

ちいきせいかつ　しゃかいさんか
地域生活や社会参加についておたずねします

問29　お子さんは、下記のような地域の行事や活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域の子ども会等の行事
2. 障がい者団体等の行事
3. ボランティア団体等の行事
4. 市等が行う行事
5. 地域のスポーツクラブや趣味のサークル等
6. その他 ()
7. 参加していない

問30　お子さんが地域で行われる行事等に参加しようとした場合、そのさまたげとなることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. どのような活動が行われているか知らない
2. 気軽に参加できる活動が少ない
3. 一緒に活動する友人・仲間がない
4. 保護者の代りに介助や見守りをしてくれる人がいない
5. 活動場所が近くにない・移動手段がない
6. 健康や体力に自信がない
7. コミュニケーションが難しい
8. 費用がかかる
9. 参加したくなるようなものがない
10. 参加したいが誘ってもらえない
11. 過去に参加したが期待はずれだった
12. その他 ()
13. 特にない
14. 参加しようとは思わない

問3 1 今後、お子さんが充実した生活を送ることを考えるうえで、どんなことに不安や悩みを感じますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 教育・学習のこと
2. 学友のこと
3. 経済的なこと
4. 自分の時間が持てないこと
5. 自分の健康状態
6. 本人の健康状態
7. 兄弟姉妹の問題
8. 住宅や居室
9. 就職のこと
10. 結婚のこと
11. 社会の無理解
12. 家族の無理解
13. 親の死後、子どもの世話をする人がいないこと
14. 親の病気、その他で一時的に子どもをみることができないこと
15. その他 ()
16. 特にない

問3 2 お子さんを育てていくうえで困っていることや不安・悩みを誰(どこ)に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市や県等の職員
2. 障がい者生活支援センターの職員等
3. 保健師
4. 障がい者相談員や民生委員・児童委員、福祉委員
5. 障がい者団体
6. 家族
7. 友人・知人、近所の人
8. ボランティア等の福祉団体
9. 入所・通所している福祉施設の職員
10. ホームヘルパーや訪問看護師等
11. 病院・診療所の医師や看護師等
12. 保育士や学校の先生等
13. その他 ()
14. 相談する人がいない

問33 障がいがあるお子さんに対する市民の理解について、どのように感じていますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 理解がある | 2. どちらかといえば理解がある |
| 3. どちらかといえば理解がない | 4. 理解がない |
| 5. どちらともいえない | |

問34 あなたは、普段の暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------|-------------|
| 1. あると思う | 2. 少しはあると思う |
| 3. ないと思う | 4. わからない |

問34-1 (問34で1・2のいずれかを選んだ方のみお答えください) 差別や偏見をどのような場所で感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. まちなかでの人の視線 |
| 2. 行政職員の対応、態度 |
| 3. 店での扱いや店員の態度 |
| 4. 仕事や収入 |
| 5. 教育の機会 |
| 6. 近所づきあい |
| 7. 地域の行事や集まり |
| 8. 交通機関や建物の構造が障がい者の利用に配慮されていないこと |
| 9. その他 () |

問35 5年前と比べて障がい者への差別や偏見は改善されたと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. かなり改善されている | 2. ある程度改善されている |
| 3. あまり改善されていない | 4. ほとんど改善されていない |
| 5. どちらともいえない | 6. わからない |

福祉全般についておたずねします

問36 障がいがある人に対する支援として、行政(国・県・市)はどのようなことを充実すべきだと思いますか。(〇は5つまで)

1. 障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や人権教育の充実
2. 障がいの特性や程度に応じた障がい児保育・教育の充実
3. 市の審議会や委員会等への障がい者の参画(登用)
4. 就労支援の充実(働くための訓練や職業紹介、就労後の指導や支援等)
5. 年金や手当等の充実
6. 公営住宅への障がい者優先入居等住宅施策の充実
7. グループホーム等の地域で共同生活できる住まいの整備
8. 障がい者の結婚や子育て等に対する支援の充実
9. 機能回復訓練等リハビリテーションの充実
10. 在宅生活を支えるための医療の充実
11. 通院・治療のための医療費の助成
12. ホームヘルプやデイサービス、外出支援等の在宅サービスの充実
13. 入所できる福祉施設の充実
14. 障がい者に対する情報提供や相談窓口の充実
15. 障がい者同士や地域の人等と交流ができる場の整備
16. ボランティアの育成と活動支援
17. 文化・スポーツ・レクリエーション等を通じた社会参加の支援
18. 緊急時や災害時の支援体制の充実
19. 障がい者にやさしいまちづくりの推進(公共施設や民間施設、公共交通機関、道路等の※バリアフリー化や※ユニバーサルデザイン化)
20. その他()
21. 特にない

※バリアフリー: バリアフリーとは、バリア(障壁)をなくすという意味です。この場合は、建物内の段差をなくしたり、出入口や廊下の幅員を広げる等、障がい者や高齢者等が生活しやすい環境をつくるために、支障となる物理的なバリア(障壁)を取り除くことを意味します。

※ユニバーサルデザイン: バリア(障壁)を除去するというバリアフリーの考え方に対して、あらかじめ障がいの有無や年齢、性別、人種等にかかわらず様々な人々が利用しやすいように都市や生活環境をデザインするという考え方のことです。

とい ねんまえ くら ふくし きょういく こよう しょう しゃしやく すす おも
問37 5年前と比べて福祉・教育・雇用・まちづくりなどの障がい者施策は進んだと思
いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. かなり進んだと思う | 2. ある程度進んだと思う |
| 3. あまり進んだと思わない | 4. ほとんど進んだと思わない |
| 5. どちらともいえない | 6. わからない |

きょうりよく
ご協力ありがとうございました。

しょう しゃふくし ふだん かんが しょうらい
障がい者福祉についてあなたが普段お考えになっていることや、あなたの将来の
ゆめ きぼう なん けっこう じゆう か
夢や希望など、何でも結構ですので、ご自由にお書きください。

ちようさひょう かいとう きにゆう ぞくがら な こ えら
◎この調査票はどなたが回答・記入しましたか。続柄は、あて名のお子さまからみたものをお選びく
ださい。

- | | | |
|--------------|-----------|------------|
| 1. 父母 | 2. 祖父母 | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. その他の家族・親族 | 5. 家族以外の人 | 6. その他 () |

いいづかししょう ふくし かん ちょうさ
飯塚市 障がい福祉に関するアンケート調査
 ちょうさひょう
(調査票E)

しょう がい ひょうき
 <「障がい(害)」の表記について>

いいづかし ほうりつ せいど めいしょう しせつ だんたいどう めいしょう こゆうめいし のぞ しょう
 飯塚市では、法律や制度の名称、施設や団体等の名称(固有名詞)を除き、「障がい」という
 ひょうき もち
 表記を用いています。

きょうりよく ねが
【ご協力のお願い】

ひごろ いいづかし しょう ふくしぎょうせい りかい きょうりよく
 日頃から飯塚市の障がい福祉行政にご理解、ご協力をいただきまして、ありがとうございます
 います。

いいづかし しょう かつ ちいき じりつ あんしん せいかつ かんきょう
 飯塚市では、障がいのある方が、地域で自立し、かつ、安心して生活できる環境づくり
 を進めるため、令和5年度中に「飯塚市障がい者計画」を策定する予定です。

この調査は、計画策定の基礎資料とするため、市民の方から無作為に抽出した約2,000人
 の方を対象に、ご意見をおうかがいするために行うものです。

なお、この調査票にお名前を書く必要はなく、調査結果は「対象者の〇〇%がこのような
 要望を持っている」というふうに、すべて統計的な処理にのみ使用します。したがって、あ
 なたのお名前や回答の内容が他の人に知られることはありませんので、安心してお答えくだ
 さい。

お忙しいところお手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

れいわ ねん がつ
 令和4年●月

いいづかしちょう
飯塚市長

きにゅう ちゅうい
記入にあたってのご注意

- この調査票は、できる限りあて名のご本人がお答えください。
- ご本人の回答や記入が難しい場合は、主に介助されている方や、ご家族の方が、ご本人
 と相談したり、ご本人の立場にたってお答えください。
- 鉛筆またはボールペンでご記入ください。
- 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きの
 指示に従ってお答えください。
- 調査票の記入が終わったら、**●月●日(●)まで**に、同封の返信用封筒に入れて、
 ポストに入れてください(住所やお名前を書く必要はありません)。

ちょうさ かん と あ さき
【調査に関するお問い合わせ先】

いいづかし ふくしぶ しゃかい しょう しゃふくしか
 飯塚市 福祉部 社会・障がい者福祉課

でん わ
 電話: 0948-22-5500 (内線1152)

F A X : 0948-21-6356

問1 あなたは、障がいのある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 言葉だけは聞いたことがある
3. 知らない

問2 国や地方公共団体では、「共生社会」の考え方に基づいて、障がいのある人もない人も共に生活できるための環境作りを進めています。あなたは、この「障がいのある人が身近で生活しているのがあたり前だ」という考え方について、どう思いますか。(○は1つだけ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. 一概にいけない
6. わからない

問3 あなたは以下の言葉をご存知ですか。①から⑩までのそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

	知っている	わからない	聞いたことはあるが、 くわしい内容までは ない	知らない
① 共生社会 障がいのある・なしにかかわらず、ともに支え合い、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、さまざまな人々の能力が発揮される社会です。	1		2	3
② 障害者週間 国民の間に広く障がいのある方の福祉について関心と理解を深めるとともに、障がいのある方が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるため、障害者基本法で定める、毎年12月3日から12月9日までの1週間をいいます。	1		2	3
③ ノーマライゼーション 障がいのある方を特別視するのではなく、一般の社会の中で普通の生活が送れるような条件を整えるべきであり、共に生きることがノーマルな社会であるという考え方です。	1		2	3

	知っている	わからない くわしい内容までは	知らない
<p>④バリアフリー</p> <p>障がいのある方が社会で生活していく上で障壁（バリア）となるものを除去する意味です。もともと建築用語で登場し、段差等の物理的障壁の除去ということが多いのですが、より広く障がいのある方の社会参加を困難にしている、社会的、制度的、心理的なすべての障壁を除去するという意味でも用いられています。</p>	1	2	3
<p>⑤ユニバーサルデザイン</p> <p>バリアフリーは、障がいによりもたらされる障壁に対処するという考え方であるのに対し、ユニバーサルデザインはあらかじめ障がいの有無、年齢、人種等に関わらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方です。</p>	1	2	3
<p>⑥障害者権利条約</p> <p>平成18年12月、国連総会において採択された、障がいのある人の尊厳や権利を保障するための国際的原則を定めた条約です。日本では、平成26年1月20日に条約の批准書を国連に寄託、同年2月19日に発効しました。</p>	1	2	3
<p>⑦障害者差別解消法</p> <p>障害者差別解消法は、すべての国民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障がいを理由とする差別の解消を推進することを目的として、平成25年6月に制定されました。</p> <p>この法律では、障がいのある人に対して、正当な理由なく、障がいを理由として差別することを禁止する「不当な差別的取り扱い」の禁止、障がいのある人から社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応する「合理的配慮」の提供などが求められています。</p>	1	2	3
<p>⑧障害者虐待防止法</p> <p>正式には「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」。障がい者に対する虐待の禁止、虐待防止のための国民の責務、虐待を受けた障がい者の保護及び自立支援のための措置等を定めた法律です。平成24年10月施行。</p> <p>飯塚市もこの法律に基づき虐待防止等に関する相談窓口（障がい者虐待防止センター）を設置しています。</p>	1	2	3

	知っている	わからない 聞いたことはあるが、 くわしい内容までは	知らない
<p>⑨障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法</p> <p>正式名称は、「障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律」。すべての障がい者があらゆる分野の活動に参加するためには、情報の十分な取得利用・円滑な意思疎通が極めて重要であることに鑑み、障がい者による情報の取得利用・意思疎通に係る施策を総合的に推進するための法律です。</p>	1	2	3
<p>⑩成年後見制度</p> <p>知的障がいや精神障がい等により判断能力が不十分な人を保護し、支援する制度です。後見人が本人に代わって財産を管理したり、契約の締結などを行うことによって、本人の権利を守ることを目的としています。</p>	1	2	3
<p>⑪障害者雇用率制度</p> <p>障がい者がごく普通に地域に暮らし、地域の一員として共に生活できる「共生社会」実現の理念のもと、すべての事業主には法定雇用率以上の割合で障がい者を雇用する義務があります。</p> <p>平成30年4月1日から、民間企業では2.2%、国、地方公共団体では2.5%となっています</p>	1	2	3
<p>⑫発達障がい</p> <p>脳の機能の発達に関係する障がいで、通常は低年齢で症状が現れるものとされており、学習障がい(LD)、注意欠陥・多動性障がい(ADHD)、自閉症などが含まれます。平成23年8月の障害者基本法改正により、発達障がいのある人も従来の3障がい(身体・知的・精神)と同様に障がい者の範囲に含まれることになりました。</p>	1	2	3
<p>⑬難病</p> <p>原因不明で治療方法が確立していない病気を指す言葉であり、国では338の疾病を指定しています(関節リウマチ、パーキンソン病など:令和3年11月1日施行)。障害者自立支援法の改正により、平成25年4月から障がい者手帳を持っていない難病患者等も障がい者の範囲に含まれるものとされ、必要に応じて障がい福祉サービスの利用が可能になりました。</p>	1	2	3

	知っている	わからない くわしい内容までは	知らない
<p>⑭ 医学的モデル、社会的モデル</p> <p>障がいに関する2つの主要な概念モデルで、医学モデルは、障がいを病気や傷害、その他の健康状態から直接引き起こされた人の特性とみます。このモデルでは、障がいは個人のもつ問題を改善するために、医療あるいはその他の治療や介入を必要とします。</p> <p>社会モデルは、障がいを社会によって作られ、個人の属性では全くないものとみます。このモデルでは、問題が社会環境の態度や、他の特性によってもたらされた不適切な物理環境によって生みだされたので、政治的な対応が求められます。</p>	1	2	3
<p>⑮ ヘルプマーク</p> <p>ヘルプマークは、義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたものです。</p>	1	2	3

問4 あなたの身边に、身のまわりのお世話（介護）を必要とする方がいらっしゃいますか。（○はあてはまるものすべて）

<p>1. 自分自身</p> <p>2. 家族・親族</p> <p>3. 知人・友人</p>	4. いない
--	--------

問4-1 (問4で1～3のいずれかを選んだ方のみお答えください) その方はどのような方ですか。（あてはまるものすべてに○）

<p>1. 高齢の方</p> <p>2. 身体障がいのある方</p> <p>3. 知的障がいのある方</p> <p>4. 精神障がいのある方</p> <p>5. 長期的な看護が必要な病人の方</p> <p>6. その他 ()</p>

問5 あなたは、^{ちいき}地域の中や^{きんじよ}近所において^{しょう}障がいのある方に対して^{かた}手助けをしたことがあ
^{たい}りますか。(○は1つだけ)

1. ある

2. ない ⇒ ^{たい}問5-3へ^{すす}お進みください

→ ^{たい}問5-1 (^{たい}問5で1を選んだ方のみお答えください) それはどのような^{きも}気持ちから
ででしょうか。(○はあてはまるものすべて)

1. ^{みうち}身内などに^{しょう}障がいのある人がいて、その^{たいへん}大変さを知っているから
2. ^{きんじよづ}近所付き合いや^あ親戚付き合いなどで
3. ^{こま}困っているときは^{たが}お互い様という^{きも}気持ちから
4. ^{じぶん}自分の仕事に^{かんれん}関連して
5. ^{しょうらい}将来、^{じぶん}自分も^{しょう}障がいをもつ^{かのうせい}可能性があるから
6. その他 ()
7. ^{なん}何となく

→ ^{たい}問5-2 (^{たい}問5で1を選んだ方のみお答えください) それはどのような^{てだす}手助けでし
たか。(○はあてはまるものすべて)

1. ^{にもつ}荷物を持ってあげた
2. ^{せき}席をゆずった
3. ^{かいたんしょうこう}階段昇降や^{どうろおうだん}道路横断の時に^て手をかした
4. ^{くるま}車いすを^お押ししたり、^も持ち上げるのを^あ手伝った
5. ^{ようす}様子を見に^みいったり、^{こえ}声をかけた
6. ^{ほうもん}訪問したり、^{はな}話し相手になった
7. ^か買い物を^{もの}代わりにしたり、^か病院などで^{びょういん}薬を^{くすり}もらってきた
8. ^{しょくじ}食事や^{そうさい}惣菜などを^もっていった
9. ^{しょくじ}食事をしたり、^{そうじ}掃除や^{せんたく}洗濯を^{てつだ}手伝った
10. ^{くるま}車で^{おく}送り迎えをするなど^{むか}外出の^が手助けをした
11. ^{かいご}介護や^{かんご}看護をした
12. ^{でんわ}電話を^か代わりにかけた
13. ^{しょるい}書類を^よ読んだり^{だいしょ}代書した
14. その他 ()

問5-3 (問5で2を選んだ方のみお答えください) 手助けをしなかったのはどうしてでしょうか。(〇はあてはまるものすべて)

1. たまたま機会がなかったから
2. 自分が何をすればよいかわからなかったから
3. どのように接したらよいかわからなかったから
4. お節介になるような気がしたから
5. 専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから
6. 自分にとって負担になるような気がしたから
7. その他 ()
8. 特に理由はない
9. わからない

問6 あなたは、本市における以下の障がい者施策やイベント等をご存知ですか。①から④までのそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ〇をつけてください。

	知っている	わからない くわしい内容までは 聞いたことはあるが、	知らない
①飯塚国際車いすテニス大会 国内外のトップクラスの選手が出場する車いすテニスの国際大会です。飯塚で開催されているグレードの大会は世界では6地域でしか開催されておらず、アジアでは飯塚が唯一の開催地です。毎年5月に筑豊ハイッツで開催されています。	1	2	3
②みんなの健康・福祉のつどい 障がいの有無にかかわらず、あらゆる市民の交流の場、ノーマライゼーション等に関する広報啓発や健康づくりに関する情報提供の場として、毎年10月に開催されています。	1	2	3
③サン・アビリティーズいづか 飯塚市における障がい者の活動拠点です。教養・文化・スポーツの各種サークルやイベント、それらを通じた障がいのない市民との交流、障がい者の相談会など様々な活動が行われています。所在地は柏の森。	1	2	3
④障がい者計画・障がい者福祉計画 地域における障がい者福祉等の向上を目的に作成される、障がい者及び家族、地域に居住するすべての住民のための福祉計画書です。	1	2	3

問7 あなたは、障がいのある方の福祉に関心をお持ちですか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. ある程度関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 関心がない |

問7-1 (問7で1または2を選んだ方のみお答えください) どのような理由から関心をお持ちですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 自分自身に障がいがあるため
2. 自分の身内や近所、知り合いに障がいのある方がいるから
3. 障がいのある方に対してボランティア活動を行っているから
4. 自分自身が福祉に関する職業に就いているから
5. テレビや新聞等で障がいのある方に関することを目にしたり聞いたりするから
6. 市の広報紙で障がいのある方に関することを目にするから
7. その他 ()
8. 特に理由はない

問8 あなたは、ボランティア活動に関心がありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. ある程度関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 全く関心がない |

問9 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つだけ)

- | |
|-------|
| 1. ある |
| 2. ない |

問9-1 (問9で1を選んだ方のみお答えください) それはどのような活動ですか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 施設での手伝い | 2. バザー・イベント等の手伝い |
| 3. 旅行や外出の手伝い | 4. 募金活動の手伝い |
| 5. 生活面での援助 | 6. 専門的スキルを生かした手伝い |
| 7. その他 () | |

次ページ問9-2へお進みください

問9-2 (問9で2を選んだ方のみお答えください) ボランティア活動についてどのようにお考えですか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 活動したい気持ちはあるが、活動するための方法やどのような行事があるのかわからない
2. 活動したい気持ちはあるが、時間的な余裕がない
3. 活動したい気持ちはあるが、健康に自信がないので難しい
4. ボランティア活動に興味がない
5. 行政や福祉団体等がやるべきだと思う
6. その他 ()
7. 特に考えたことはない

問10 あなたは、普段の暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。(〇は1つだけ)

1. あると思う
2. 少しはあると思う
3. ないと思う
4. わからない

問10-1 (問10で1・2のいずれかを選んだ方のみお答えください) 差別や偏見をどのような場所で感じますか。(〇はあてはまるものすべて)

1. まちなかでの人の視線
2. 行政職員の対応、態度
3. 店での扱いや店員の態度
4. 仕事や収入
5. 教育の機会
6. 近所づきあい
7. 地域の行事や集まり
8. 交通機関や建物の構造が障がい者の利用に配慮されていないこと
9. その他 ()

問11 5年前と比べて障がい者への差別や偏見は改善されたと思いますか。(〇は1つだけ)

1. かなり改善されている
2. ある程度改善されている
3. あまり改善されていない
4. ほとんど改善されていない
5. どちらともいえない
6. わからない

問12 障がいのある方に対する理解を促進するためにどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 子どもに対する福祉教育に力を入れる
2. 障がいのある児童生徒とない児童生徒とが相互理解を深める交流教育を促進する
3. 市民対象の福祉講座や講演会を開催する
4. スポーツ、レクリエーション、文化活動などを通じて障がいのある方とない方とのふれあいの機会をふやす
5. 障がい者団体の活動をPRする
6. 障がいのある方に対するボランティア活動を育成・支援する
7. 地域において障がいのある方とない方との交流を深めるイベントを実施する
8. 市の広報紙で障がいのある方への理解を深めるための広報を推進する
9. テレビ・新聞等マスメディアに障がいのある方への理解を深めるための報道を依頼する
10. 市の職員に対する研修の実施
11. その他 ()
12. 特になし

問13 5年前と比べて福祉・教育・雇用・まちづくりなどの障がい者施策は進んだと思いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. かなり進んだと思う | 2. ある程度進んだと思う |
| 3. あまり進んだと思わない | 4. ほとんど進んだと思わない |
| 5. どちらともいえない | 6. わからない |

問14 障がいのある方が安心して生活することができるためには、あなたはどのようなことをすべきだと思いますか。自由にご意見をお書きください。

さいご かいとう とうけいてき ぶんせき じしん
□最後に、ご回答を統計的に分析するため、あなたご自身のことについておたずねします。

F 1 せいべつ
性別 (○は1つだけ)

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

F 2 ねんれい
年齢 (○は1つだけ)

1. 20～24歳	2. 25～29歳	3. 30～34歳
4. 35～39歳	5. 40～44歳	6. 45～49歳
7. 50～54歳	8. 55～59歳	9. 60～64歳
10. 65～69歳	11. 70歳以上	

F 3 しごと ないよう なん
あなたのお仕事の内容は何ですか。(○は1つだけ)

1. 農林水産業 (家族従事者を含む)
2. 自営業・自由業 (家族従事者を含む)
3. 企業、役所、団体などの正規職員
4. パート・アルバイト、契約社員、派遣社員など
5. 専業主婦・主夫
6. 学生
7. 無職 (定年退職者を含む)
8. その他 ()

きょうりょく
～ご協力ありがとうございました。～